

## 第4章 介護人材の資格取得意欲と就業意識

### 第1節 はじめに

介護人材の確保が課題となる中で、労働力の量的確保と質的向上の両面からさまざまな取り組みがなされてきた。資質・専門性の向上という観点からは、介護福祉士を中核とする資格制度を共通基盤として、研修、能力評価、資格取得によりステップアップしていく道筋が働く上での目標となっている。介護職員に占める介護福祉士の割合も着実に上昇を続け、4割に近づきつつある。

一方、必ずしも上級資格の取得を目指さない介護職員も一定割合存在し、さまざまな理由により積極的に資格を取得する意向がない場合でも、現場における重要な戦力として、比較的長く定着し、安定的に働いているケースも少なくない。

介護の質の向上という観点からは、専門性の高い人材を増やしていくことが重要であるが、労働力確保の面からは、個人の事情等により、必ずしも高度な能力開発は志向しないまでも、無理のない範囲で働き甲斐を持って仕事をしたい、という労働者も取りこぼすことのないよう、それぞれのニーズを把握し、対応することが必要である。

このため、本章では、介護業務に従事する現職の介護労働者について、介護福祉士資格の有無と取得意欲に着目し、①介護福祉士資格の取得者、②今後の資格取得を希望する者、③資格取得を希望しない者のそれぞれについて、どのような就業意識や職場への要望、課題を有しているか、就業継続意志や職場への満足感には違いがみられるか等を分析し、多様な志向や意欲を持つ介護労働者が、介護分野に定着して能力を發揮できる職場づくりについて検討する。

本章の分析は、財団法人 介護労働安定センターが実施した「平成24年度介護労働実態調査」のうち、労働者を対象とする「介護労働者の就業実態と就業意識調査」の個票データの再分析に基づいて行っている。貴重なデータを快く提供くださった財団法人 介護労働安定センターに厚く御礼申し上げる。

### 第2節 資格所持の全体状況

介護福祉士資格の取得に着目して分析を進めるに先立って、介護労働実態調査の概要と介護人材の資格所持状況全体についてみておこう。

今回分析に利用する介護労働安定センターの介護労働実態調査は、「事業所における介護労働実態調査」と「介護労働者の就業実態と就業意識調査」からなり、24年度調査は、事業所調査の回答数が7,511事業所（回答率43.5%）、労働者調査はこの事業所から1事業所あたり3名を上限に調査対象を抽出し、回答者数18,673人（回答率36.1%）となっている。介護労働者の就業状況に関する実態調査としては、データ量、調査の継続性ともに我が国の代表的な総合的調査である。

本章では、介護福祉士の資格取得に着目するが、その前に介護福祉士を含め、介護労働者の資格所持の実態がどのようになっているのかを、「介護労働者の就業実態と就業意識調査」（以下、「介護労働者調査」と略記する。）のデータにより確認する。

24年度介護労働者調査では、「現在持っている介護に関する資格」として、①介護福祉士、②介護職員基礎研修、③ホームヘルパー1級、④ホームヘルパー2級、⑤介護支援専門員、⑥看護師・准看護師、⑦PT・OT・ST、⑧社会福祉士、⑨福祉用具専門相談員、⑩栄養士・管理栄養士、⑪その他の介護福祉関係の資格の11の資格区分について、所持しているかどうかをたずねており、有効回答数18,673人のうち、「資格なし」及び無回答を除く17,794人が上記の何らかの資格を有している（図表4-1）。

このうち、最も取得者の多い資格はホームヘルパー2級の10,388人（資格所持者の58.4%）であり、次いで介護福祉士の9,265人（同52.1%）である。

複数の資格を併せて所持している人も多いが、介護分野の入門資格であるホームヘルパー2級では、約4割（39.8%）がホームヘルパー2級のみを所持する人であり、看護師やPT・OT・STといった医療系の資格を別にすると、最も単独資格者の比率が高い。介護福祉士では、半数強（54.0%）がホームヘルパー2級資格を有し、3割近く（27.7%）が介護支援専門員資格を有しており、単独資格者の割合は4人に1人（25.4%）である。介護職員基礎研修とホームヘルパー1級はホームヘルパー2級から介護福祉士に至る中間段階の資格であることを反映して、いずれも6割強（62.5%、60.5%）がホームヘルパー2級を有している。介護に関する資格のうち最も複数の資格を有する人が多い介護支援専門員は、7割弱（68.2%）が介護福祉士、2割弱（18.9%）が看護師・准看護師資格を有しており、この2つのルートからの資格取得者が多いことがうかがえる。

図表4-1 介護分野の資格所持の状況

%、太字は実数

	介護福祉士	介護職員基礎研修	ホームヘルパー1級	ホームヘルパー2級	介護支援専門員	看護師・准看護師	PT・OT・ST	社会福祉士	福祉用具専門相談員	栄養士・管理栄養士	外の介護福祉関係の資格	単独資格	計	n	資格所持者実数17,794人に対する比率
介護福祉士	100.0	4.3	10.2	54.0	27.7	0.7	0.1	3.2	2.9	1.3	15.5	25.4	100.0	<b>9,265</b>	52.1
介護職員基礎研修	42.6	100.0	11.3	62.5	14.3	1.6	0.1	1.1	3.6	0.6	14.7	20.4	100.0	<b>937</b>	5.3
ホームヘルパー1級	67.3	7.5	100.0	60.5	29.9	7.3	0.0	2.8	5.0	1.1	16.1	11.0	100.0	<b>1,406</b>	7.9
ホームヘルパー2級	48.2	5.6	8.2	100.0	14.6	0.9	0.1	2.4	3.5	1.3	12.1	39.8	100.0	<b>10,388</b>	58.4
介護支援専門員	68.2	3.6	11.1	40.4	100.0	18.9	1.2	9.4	4.4	1.8	18.9	3.3	100.0	<b>3,768</b>	21.2
看護師・准看護師	3.2	0.7	4.9	4.4	34.4	100.0	0.0	1.3	0.9	0.0	3.7	57.6	100.0	<b>2,077</b>	11.7
PT・OT・ST	3.4	0.5	0.0	5.9	22.9	0.5	100.0	1.5	2.4	0.0	12.2	63.9	100.0	<b>205</b>	1.2
社会福祉士	48.8	1.7	6.6	41.2	58.6	4.6	0.5	100.0	7.1	0.7	24.5	8.9	100.0	<b>604</b>	3.4
福祉用具専門相談員	51.8	6.5	13.6	69.6	31.9	3.4	1.0	8.2	100.0	1.1	33.8	4.0	100.0	<b>523</b>	2.9
栄養士・管理栄養士	49.2	2.5	6.8	58.9	29.2	0.4	0.0	1.7	2.5	100.0	8.5	14.0	100.0	<b>236</b>	1.3
上記以外の介護福祉関係の資格	62.8	6.1	10.0	55.2	31.2	3.3	1.1	6.5	7.8	0.9	100.0	8.7	100.0	<b>2,280</b>	12.8

### 第3節 分析対象とその属性

#### 1. 分析対象

このように、介護分野に従事する労働者には、介護福祉士やヘルパー、介護支援専門員といった介護の資格だけでなく、看護師や社会福祉士など医療・福祉関連のさまざまな資格を併せて所持している人が多い。本章の分析では、介護福祉士資格の取得意欲と就業意識との関係に焦点を当てて検討を行うため、担当業務の違いや他の所持資格との関連をできるだけ小さくするよう、次のようなケースに限定して分析を行うこととした。

現在の主な仕事（職種）が「訪問介護員<sup>1)</sup>」または「介護職員<sup>2)</sup>」である人のうち、

- ①介護福祉士であって、看護師・准看護師、PT・OT・ST、社会福祉士、栄養士・管理栄養士資格を所持していない人 ……5,372人
- ②ホームヘルパー2級のみを所持している人であって、「今後取りたいと考えている資格等」として介護福祉士を選択した人 ……2,350人
- ③ホームヘルパー2級のみを所持している人であって、「今後取りたいと考えている資格等」として介護福祉士を選択しなかった人 ……1,446人

①～③ 合計 9,168人

（労働者調査の問1(2)の主な仕事、問4(1)の現有資格及び取りたい資格に関する回答に基づいて抽出）

#### 調査における主な仕事（職種）の定義

注1) 訪問介護員：介護保険法の指定を受けた訪問介護事業所で働き、高齢者等の家庭を訪問して家事などの生活援助、入浴などの身体介護を行う者。

注2) 介護職員：訪問介護以外の介護保険の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

すなわち、現在、直接介護に携わっている人であって、介護資格の目標点である介護福祉士資格を取得した人（以下、「介護福祉士群」）、取得を希望する人（以下、「取得希望あり群」）、取得希望がない人（以下、「取得希望なし群」）の3つの類型を比較する形で分析を進める。

#### 2. 主な属性

上記の3群のそれぞれについて、主な属性をみる（図表4-2）。

まず、年齢に関しては、取得希望なし群と他の2類型との違いが大きく、取得希望なし群では55歳以上比率が45.0%と、他の2群より30ポイント以上高い。「希望あり群」で最も若い年齢層の比率が高い。

性別に関しては、取得希望なし群の女性比率が最も高く、取得希望あり群で女性比率が最も低い。

学歴に関しては、介護福祉士群で「専門・短大・高専」の比率が最も高く、取得希望なし群で高校卒業までの学歴の比率が最も高い。

図表 4-2 年齢、性別、学歴の状況

構成比(%)、太字は実数

	合計	年齢				性別		学歴			
		34歳以下	35-44歳	45-54歳	55歳以上	男	女	中学卒	高校卒	専門・短大・高専	大学・大学院卒
合計	<b>9,168</b>	<b>2,551</b>	<b>2,446</b>	<b>2,356</b>	<b>1,732</b>	<b>1,891</b>	<b>7,213</b>	<b>359</b>	<b>4,579</b>	<b>3,230</b>	<b>913</b>
	100.0	27.8	26.7	25.7	18.9	20.6	78.7	3.9	49.9	35.2	10.0
介護福祉士資格あり	<b>5,372</b>	30.4	27.2	26.0	15.6	21.1	78.3	2.2	43.9	43.7	9.4
2級のみ・取得希望あり	<b>2,350</b>	32.0	31.4	25.5	10.3	24.8	74.6	4.7	57.0	24.9	12.3
2級のみ・取得希望なし	<b>1,446</b>	11.6	17.1	25.0	45.0	12.2	86.7	8.9	61.1	20.5	8.4

属性について無回答は掲載を省略した(計には含む)。

### 3. 就業状況

続いて、就業状況についてみる(図表4-3)。

主な仕事に関しては、訪問介護員か介護職員(主に施設介護)かのいずれかに分類されるが、取得希望なし群で訪問介護員の比率が高く、事業所類型としても訪問系の比率が高い。介護福祉士群では入所型施設の介護職員が多く、取得希望あり群はその中間的な構成となっている。

雇用形態としては、介護福祉士群、取得希望あり群、取得希望なし群の順に正規職員比率が低くなり、各群の間に段階的に20ポイント程度の差がある。

また、非正規職員の労働時間についてみると、「正規職員より短い」とする割合が取得希望なし群で高い。

図表 4-3 主な仕事、事業所類型、雇用形態、労働時間

構成比(%)、太字は実数

	合計	主な仕事(職種)		事業所類型*			雇用形態		非正規職員の労働時間	
		訪問介護員	介護職員	訪問系	施設系(入所型)	施設系(通所型)	正規職員	非正規職員	正規職員と同じ	正規職員より短い
合計	<b>9,168</b>	<b>2,533</b>	<b>6,635</b>	<b>2,893</b>	<b>3,140</b>	<b>2,430</b>	<b>5,422</b>	<b>3,415</b>	<b>1,229</b>	<b>1,915</b>
	100.0	27.6	72.4	31.6	34.2	26.5	59.1	37.2	36.0	56.1
介護福祉士資格あり	100.0	22.7	77.3	26.4	38.6	25.2	70.1	27.1	42.2	52.0
2級のみ・取得希望あり	100.0	29.1	70.9	33.7	32.1	29.3	51.4	45.0	39.8	51.7
2級のみ・取得希望なし	100.0	43.4	56.6	47.1	21.8	26.8	30.9	62.3	21.4	67.8

注：\*事業内容によって事業所を類型化した。＜訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、居宅介護支援、定期巡回・臨時対応訪問介護看護、夜間対応型訪問介護＞を「訪問系」、＜短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設＞を「施設系(入所型)」、＜通所介護、通所リハビリテーション、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護＞を「施設系(通所型)」、＜複合型サービス、福祉用具貸与・特定福祉用具販売、介護保険以外のサービス、その他、無回答＞を「その他」とした。

本表では、事業所類型の「その他」および無回答は掲載を省いた。

入職年齢をみると、介護福祉士群では若い年齢層での入職者の割合が最も大きく、取得希望なし群では40歳以上での入職者が7割近くに達し、高い年齢層で入職した人の割合が最も大きい。取得希望あり群ではその中間的な構成になっている（図表4-4）。

図表4-4 入職年齢

	構成比（%）、太字は実数				
	合計	24歳以下	25-39歳	40歳以上	不明
合計	<b>9,168</b> 100.0	<b>2,255</b> 24.6	<b>3,439</b> 37.5	<b>3,355</b> 36.6	<b>119</b> 1.3
介護福祉士資格あり	<b>5,372</b> 100.0	32.6	38.7	27.6	1.1
2級のみ・取得希望あり	<b>2,350</b> 100.0	17.6	42.9	38.4	1.1
2級のみ・取得希望なし	<b>1,446</b> 100.0	6.4	24.2	67.2	2.2

職位をみると、介護福祉士群では約4割が管理職や職場のまとめ役になっているが、取得希望あり群も取得希望なし群も約8割が役職等に就いていない（図表4-5）。

図表4-5 職位の状況

	構成比（%）、太字は実数				
	合計	①管理職	②主任・(サブ)リーダーなど職場のまとめ役	①又は②以外	無回答
合計	<b>9,168</b> 100.0	<b>421</b> 4.6	<b>2,040</b> 22.3	<b>6,196</b> 67.6	<b>511</b> 5.6
介護福祉士資格あり	<b>5,372</b> 100.0	6.2	31.0	57.9	4.8
2級のみ・取得希望あり	<b>2,350</b> 100.0	2.2	11.1	82.0	4.8
2級のみ・取得希望なし	<b>1,446</b> 100.0	2.4	7.7	80.2	9.7

#### 4. 属性や就業状況に関する傾向

以上、特徴的な点をまとめると、図表4-6のように、取得希望なし群と他の2類型との差が大きいもの（現在の年齢や入職年齢、主な仕事）、介護福祉士群と他の2類型との差が大きいもの（学歴、職位）、介護福祉士群、取得希望あり群、取得希望なし群で段階的に差があるもの（雇用形態）がある。

図表4-6 類型別にみた属性、就業状況の傾向

	【現年齢】 45歳以上の 比率	【入職年齢】 40歳以上で の入職比率	【性別】 男性割合	【学歴】 専門学校卒 業以上	【仕事】 訪問介護の 比率	【雇用形態】 正規職員 比率	【職位】 役職あり 比率
介護福祉士資格あり	42%	28%	5人に1人	53%	23%	70%	37%
2級のみ・取得希望あり	36%	38%	4人に1人	37%	29%	51%	13%
2級のみ・取得希望なし	70%	67%	8人に1人	29%	43%	31%	10%

2級資格のみを所持している2群の間で、年齢構成及び雇用形態に関する差が大きく、図表4-7のように、これらの属性によって取得希望状況が異なっている。年齢が34歳以下の若い層では雇用形態による取得希望状況の差がみられないが、その他の区分では、年齢・雇用形態により取得を希望する割合が異なり、年齢層が若いほど、また正規職員のほうが取得を希望する割合が高い。第4節ではこの点に留意して分析を進める。

図表4-7 年齢・雇用形態別の取得希望状況（「取得希望あり」の比率）

％、太字は実数

	正規職員	非正規職員	雇用形態計	n
34歳以下	83.1	79.6	81.7	<b>919</b>
35-44歳	81.7	71.4	74.9	<b>986</b>
45-54歳	69.1	57.3	62.4	<b>961</b>
55歳以上	42.4	21.4	27.1	<b>892</b>
年齢計	73.0	54.0	61.9	<b>3,796</b>
n	<b>1,654</b>	<b>1,959</b>	<b>3,796</b>	

2級資格のみ所持者。年齢、雇用形態について無回答は掲載を省略した（計には含む）。

#### 第4節 資格取得と就業意識

介護現場で働きながら介護福祉士資格の取得をめざすに当たっては、自分自身のスキルアップを図ることとともに、資格取得により、処遇や労働条件等の向上、働き方の改善が実現することが期待されていると考えられる。

そこで、資格取得を希望する人と希望しない人との間では、働き方や自分のスキル等に関し課題意識に違いがあるのか、あるとすればどのような傾向があるのかについてみていく。さらに、介護福祉士資格を取得することにより、資格取得の背景にあった課題意識は解消する方向に向かうのかどうか、資格を取得した介護福祉士群との比較により考察する。

##### 1. 労働条件・仕事の負担についての課題との関係

まず、「働く上での悩み、不安、不満等」のうち、「労働条件・仕事の負担」に関する状況を見る（図表4-8）。設問は、「あなたが労働条件・仕事の負担について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか」として、「仕事内容のわりに賃金が低い」、「人手が足りない」など18の項目及び「特に悩み、不安、不満は感じていない」の計19項目について、あてはまるものすべてをあげてもらうものである。

図表4-8 労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満

労働条件・仕事の負担についての悩み、不安、不満	MA %		
	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士
雇用が不安定である**	10.7	10.2	8.1
正規職員(正社員)になれない***	5.2	10.3	6.0
人手が足りない***	34.1	42.9	50.3
仕事内容のわりに賃金が低い***	38.7	44.4	51.6
労働時間が不規則である*	15.0	16.9	18.2
労働時間が長い***	5.5	9.7	11.6
不払い残業がある***	4.1	10.3	12.8
休憩が取りにくい***	22.5	28.8	30.4
有給休暇が取りにくい***	24.2	30.7	43.9
夜間や深夜時間帯に何か起きるのではないかと不安がある***	12.7	24.5	27.9
職務として行う医的な行為に不安がある***	7.1	10.4	11.4
身体的負担が大きい(腰痛や体力に不安がある)***	32.6	32.7	39.3
精神的にきつい***	18.6	23.8	31.8
健康面(感染症、怪我)の不安がある*	17.6	20.3	17.8
業務に対する社会的評価が低い***	23.5	26.9	35.6
福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある***	9.7	14.3	16.1
工作中的の怪我などへの補償がない**	8.9	9.0	7.2
その他	2.7	3.4	3.8
労働条件・仕事の負担について特に悩み、不安、不満等は感じていない***	15.1	9.4	5.9
n	1446	2350	5372

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

資格取得類型別の回答状況をみると、「その他」を除く18の項目すべてにおいて、類型間の回答に有意差があり、取得希望なし群では「雇用が不安定」と「特に悩み、不安、不満は感じていない」への回答割合が高く、取得希望あり群では「正規職員になれない」、「健康面の不安がある」、「工作中的の怪我などへの補償がない」への回答割合が高い。それ以外の13項目については介護福祉士群の回答割合が最も高い。

このように、雇用の安定性を別にすると、全体として、取得希望なし群では、労働条件・仕事の負担に対する悩み・不安・不満をあげる人の割合が他の2群より低い。また、取得希望あり群では、業務上の事故やその補償に対する不安が強い。それ以外の項目では、介護福祉士群において悩み・不安・不満をあげる人の割合が高い。特に、「有給休暇が取りにくい」の回答割合について、他の2群との差が大きい。

各群における年齢別及び雇用形態別の構成の違いを除いて労働条件・仕事の負担についての意識の違いをみるため、年齢・雇用形態別に分けて資格取得類型別の状況を比較する(図表4-9、4-10)。

いずれの年齢・雇用形態区分でも全般に介護福祉士群で悩み・不安・不満をあげる割合が高く、取得希望なし群で悩み・不安・不満はないとする割合が高いのは全体計と同様であるが、

悩み・不安等のある具体的な労働条件や仕事負担の内容についてみると、年齢・雇用形態区分によって傾向の違いがみられる。

まず、内容別に資格取得類型による相違をみる。資格取得類型間の違いが小さい項目は、「雇用が不安定」、「労働時間が不規則」、「労働時間が長い」、「休憩が取りにくい」、「医的な行為に不安」、「健康面の不安」、「福祉機器の不足等」、「工作中的怪我への補償」などである。総じて、雇用の安定性や労働時間の状況、安全面や事故補償などに対する不安や不満については資格取得類型間の違いが小さいことがうかがえる。

一方、資格取得類型による違いが大きい項目は、「正規職員になれない」（非正規職員についてのみ集計）、「人手が足りない」、「仕事内容の割に賃金が低い」、「不払い残業がある」、「有給休暇が取りにくい」、「夜間・深夜時間帯の不安」、「身体的負担」、「精神的にきつい」、「社会的評価が低い」である。賃金や雇用形態、労働負荷、社会的評価に対する不安や不満については資格取得類型間で感じ方の違いがあることがうかがえる。

資格取得類型間の違いには、不満・不安をあげる割合が、①介護福祉士群、取得希望あり群、取得希望なし群と段階的に低くなっている項目が多いが、中には、②介護福祉士群・取得希望あり群が同じように高く、取得希望なし群のみが他の2類型に比べて大幅に低い項目や、③取得希望あり群で高い傾向がある項目もみられる。

①に該当する項目は、資格を取得したことに伴ってさらに問題意識が高まる項目であり、②および③の項目は資格取得希望の形成に影響が大きい項目ではないかと考えられる。①に該当するもののうち、「有給休暇が取りにくい」、「人手が足りない」など人手不足に起因すると考えられる項目については、年齢・雇用形態別の各区分を通して、介護福祉士群の不満が大きい。②に該当するものとしては、「正規職員になれない」（非正規職員のみ）があげられる。この項目については、各年齢層を通して取得希望なし群があげる割合が大幅に低く、正職員化の希望と資格取得意欲との結びつきが強いことがうかがえる。③に該当するものとしては、「夜間や深夜時間帯への不安」があげられる。この項目は、取得希望あり群と取得希望なし群の差が大きく、35～44歳と45～54歳の非正規職員などの区分で、取得希望あり群において不安をあげる割合が他の資格取得類型に比べて高くなっている。

図表4-9 労働条件・仕事の負担についての悩み・不安・不満（年齢・雇用形態別）①

		雇用が不安定である	正規職員(正社員)になれない	人手が足りない	仕事内容のわりに賃金が低い	労働時間が不規則である	労働時間が長い	不払い残業がある	休憩が取りにくい	有給休暇が取りにくい	n
34歳以下	正規職員	7.1	-	56.6	57.5	24.6	14.1	18.5	31.0	50.6	1,324
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	8.7	-	50.3	45.7	23.4	14.1	14.5	30.9	37.2	495
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	4.0	-	45.5	38.6	16.8	12.9	5.9	30.7	32.7	101
				*	***			**		***	
	非正規職員	12.5	22.5	45.7	47.1	13.9	7.1	12.1	30.7	27.1	280
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	14.7	22.7	39.1	44.5	15.1	8.0	8.4	26.5	25.6	238
2級のみ・取得希望なし 有意水準	8.2	11.5	32.8	44.3	18.0	6.6	4.9	24.6	18.0	61	
35〜44歳	正規職員	7.7	-	53.2	55.1	17.2	14.7	13.4	31.5	50.4	1,055
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	4.6	-	45.8	45.8	17.5	12.0	11.1	32.3	40.6	325
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	9.6	-	39.7	53.4	13.7	5.5	1.4	35.6	39.7	73
				*	*			**		**	
	非正規職員	15.5	20.5	44.6	46.5	14.7	7.1	10.5	22.8	25.7	381
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	13.1	20.5	37.9	39.7	15.9	6.4	6.9	22.1	18.5	390
2級のみ・取得希望なし 有意水準	16.0	6.4	35.3	33.3	10.9	3.8	5.1	16.7	12.2	156	
			***	*					**		
45〜54歳	正規職員	5.0	-	52.5	52.7	16.2	11.8	11.6	31.9	48.8	885
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	7.0	-	48.3	51.7	13.3	14.4	13.7	36.2	38.4	271
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	7.4	-	47.1	47.1	16.5	9.9	8.3	33.9	44.6	121
										*	
	非正規職員	13.9	24.4	40.5	45.4	18.1	7.9	7.7	26.0	27.8	454
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	13.4	20.7	40.1	44.5	15.4	6.4	10.4	27.1	23.7	299
2級のみ・取得希望なし 有意水準	13.9	11.2	36.8	39.0	15.7	3.1	3.6	25.1	23.8	223	
			***				*		*		
55歳以上	正規職員	3.4	-	47.4	46.1	15.8	12.4	10.9	36.6	50.9	475
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	4.6	-	41.7	42.6	7.4	10.2	7.4	38.0	41.7	108
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	6.1	-	33.3	38.1	10.9	5.4	4.1	26.5	34.7	147
				*		*		*		**	
	非正規職員	9.8	14.4	39.6	43.6	14.1	6.1	6.7	27.0	30.7	326
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	14.8	24.6	33.6	43.4	18.0	3.3	5.7	26.2	23.0	122
2級のみ・取得希望なし 有意水準	11.0	5.6	27.3	34.9	15.7	3.8	2.7	15.2	16.6	447	
			***	**	*		*	***	***		

χ<sup>2</sup>検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。  
 正規職員については「正規職員（正社員）になれない」を除く。  
 年齢、雇用形態に無回答のものは掲載を省略した。

図表4-10 労働条件・仕事の負担についての悩み・不安・不満（年齢・雇用形態別）②

		夜間や深夜 時間帯に何 か起きるの ではないかと 不安がある	職務として 行う医的な 行為に不安 がある	身体的負担 が大きい(腰 痛や体力に 不安がある)	精神的にき つい	健康面(感 染症、怪 我)の不安 がある	業務に対す る社会的評 価が低い	福祉機器の 不足、機器 操作の不慣 れ、施設の 構造に不安 がある	仕事上の怪 我などへの 補償がない	労働条件・ 仕事の負担 について特 に悩み、不 安、不満等 は感じてい ない	n
3 4 歳 以下	正規職員	40.9	14.2	39.0	37.8	18.6	34.4	19.5	6.3	3.5	1,324
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	39.0	12.9	30.9	28.3	19.2	23.0	17.4	5.3	8.1	495
	2級のみ・取得希望なし	25.7	9.9	24.8	26.7	10.9	19.8	8.9	5.9	14.9	101
	有意水準	*		***	***		***	*		***	
	非正規職員	19.6	11.4	28.6	23.6	17.5	27.1	17.9	6.8	8.6	280
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	19.7	10.1	29.0	20.2	20.6	21.8	13.4	8.8	14.7	238
2級のみ・取得希望なし	14.8	6.6	44.3	26.2	26.2	23.0	6.6	4.9	18.0	61	
有意水準			*							*	
3 5 歳	正規職員	30.9	12.3	40.3	37.1	16.4	37.7	17.4	5.8	5.0	1,055
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	26.5	11.7	32.0	25.8	17.2	26.8	12.3	8.9	10.2	325
	2級のみ・取得希望なし	23.3	13.7	41.1	31.5	23.3	23.3	17.8	6.8	9.6	73
	有意水準			*	**		***			**	
	非正規職員	7.1	9.2	30.7	23.1	16.5	29.1	16.8	9.2	8.7	381
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	13.1	6.2	32.1	21.5	17.2	25.1	14.6	9.5	10.0	390
2級のみ・取得希望なし	1.3	3.2	22.4	10.3	17.3	17.9	11.5	9.0	19.2	156	
有意水準	***	*		**		*			**		
4 5 歳	正規職員	30.8	11.0	44.9	33.7	18.1	38.4	15.1	6.7	5.4	885
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	30.6	13.3	36.5	26.9	22.9	30.6	15.5	9.2	6.6	271
	2級のみ・取得希望なし	24.8	9.1	41.3	31.4	19.8	26.4	15.7	7.4	6.6	121
	有意水準						**				
	非正規職員	9.5	8.1	38.3	24.9	20.3	37.0	10.1	10.1	7.5	454
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	14.7	10.0	38.8	19.1	29.1	31.8	14.4	13.4	8.4	299
2級のみ・取得希望なし	6.7	6.3	35.0	17.9	19.7	26.5	12.6	9.4	12.1	223	
有意水準	**				**	*					
5 5 歳 以上	正規職員	31.8	11.2	44.8	26.3	16.6	37.9	15.6	7.2	5.7	475
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	37.0	9.3	35.2	27.8	13.9	29.6	11.1	8.3	7.4	108
	2級のみ・取得希望なし	22.4	8.8	33.3	17.7	14.3	22.4	8.8	6.8	18.4	147
	有意水準	*		*			**			***	
	非正規職員	10.7	7.1	39.0	22.4	17.2	37.4	8.9	10.1	11.3	326
	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	12.3	8.2	32.8	18.9	21.3	34.4	10.7	13.9	9.0	122
2級のみ・取得希望なし	8.5	6.7	31.8	14.1	16.3	24.4	6.7	11.6	17.9	447	
有意水準					*	***			**		

χ<sup>2</sup>検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

年齢、雇用形態に無回答のものは掲載を省略した。

## 2. 人間関係等についての課題との関係

次に、「働く上での悩み、不安、不満等」のうち、人間関係等に関する状況をみる（図表4-11）。設問は、「あなたが職場での人間関係等について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか」として、「ケアの方法等について意見交換が不十分である」、「部下の指導が難しい」など9つの項目及び「特に悩み、不安、不満は感じていない」の計10項目について、あてはまるものすべてをあげてもらうものである。

資格取得類型別の回答状況をみると、「その他」を除くすべての項目において、類型間の回

答に有意差があり、悩み・不安・不満の回答割合は介護福祉士群が最も高い。「特に悩み、不安、不満は感じていない」割合は取得希望なし群で最も高い。

年齢・雇用形態別に分けて状況を比較すると(図表4-12)、おおむねいずれの区分でも、全体傾向と同じく悩み・不安・不満の回答割合は介護福祉士群が最も高い。悩み等を感じていない割合は、34歳以下・正規職員、35～44歳・正規職員及び非正規職員では取得希望あり群で最も高く、労働条件や仕事負担への回答と比べて、取得希望の有無による差異が小さい。また、いずれの資格取得類型でも、悩みや不満を感じている割合は非正規職員より正規職員のほうが高い。

図表4-11 職場での人間関係についての悩み、不安、不満

職場での人間関係についての悩み、不安、不満	MA %		
	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士
経営者層の介護基本方針、理念が不明確である***	9.5	12.1	14.6
経営者層や管理職等の管理能力が低い、業務の指示内容が不明確、不十分である***	13.7	17.8	22.4
上司や同僚と仕事上の意思疎通がうまく行かない***	14.4	17.5	20.5
上司や同僚の介護能力が低い***	8.0	9.7	16.3
自分と合わない上司や同僚がいる***	17.0	22.8	23.9
部下の指導が難しい***	7.3	12.9	28.5
ケアの方法等について意見交換が不十分である***	16.3	24.3	28.6
悩みの相談相手がいない、相談窓口がない***	8.5	10.3	13.5
その他	3.5	2.7	3.6
職場での人間関係について特に悩み、不安、不満等は感じていない***	43.0	36.6	23.7
n	1,446	2,350	5,372

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、 \*\*<0.01、 \*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

図表4-12 職場での人間関係についての悩み、不安、不満（年齢・雇用形態別）

		MA %										n
		経営者層や 管理職等の 経営者層の 介護基本方 針、理念が 不明確であ る	経営者層の 管理職等の 低い、業務 の指示内容 が不明確、 不十分	上司や同僚 と仕事上の 意思疎通が うまく行か ない	上司や同僚 の介護能力 が低い	自分と合わ ない上司や 同僚がいる	ケアの方法 等について 意見交換が 不十分であ る	職場での人 間関係につ いて特に悩 み、不安、 不満等は感 じていない				
3 4 歳 以下	正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	14.4	21.9	23.1	16.4	27.0	36.0	33.3	15.3	19.6	1,324
		2級のみ・取得希望なし	11.5	15.6	18.0	9.7	23.2	21.6	25.1	11.1	34.1	495
		有意水準	*	**	*	**		***	***		***	
	非正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	15.0	24.3	24.3	18.6	27.1	16.1	31.8	12.9	28.2	280
	2級のみ・取得希望なし	10.1	13.9	16.4	7.6	23.9	7.1	21.0	10.1	43.3	238	
	有意水準	*	**	*	***		**	***		***		
3 5 歳	正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	15.8	24.0	21.2	18.5	24.7	38.2	28.1	14.7	18.8	1,055
		2級のみ・取得希望なし	11.4	20.3	18.8	10.5	24.9	20.6	26.2	10.8	32.3	325
		有意水準				**		***			***	
	非正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	12.3	19.7	17.6	15.2	22.3	12.6	23.9	11.3	35.4	381
	2級のみ・取得希望なし	13.1	14.6	14.1	8.2	17.2	8.5	24.1	8.7	43.8	390	
	有意水準				**		*		*	*		
4 4 歳	正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	15.1	21.8	18.5	17.5	24.3	34.6	27.8	14.2	20.1	885
		2級のみ・取得希望なし	16.6	26.9	23.6	15.9	29.5	12.9	26.6	13.7	25.5	271
		有意水準						***	*		*	
	非正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	16.1	24.9	20.3	14.5	20.9	11.5	24.7	10.8	33.3	454
	2級のみ・取得希望なし	10.4	18.1	18.1	8.0	23.7	5.4	24.1	9.4	39.8	299	
	有意水準	*	*		**		**			*		
4 5 歳	正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	13.7	22.3	20.6	15.2	20.2	28.0	25.7	12.2	22.1	475
		2級のみ・取得希望なし	13.0	23.1	13.9	8.3	15.7	10.2	25.9	6.5	33.3	108
		有意水準			**	**		***	***	*	***	
	非正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	11.7	20.6	12.9	10.1	16.9	7.7	27.0	10.1	37.1	326
	2級のみ・取得希望なし	9.8	16.4	16.4	3.3	23.0	4.1	18.0	10.7	39.3	122	
	有意水準		***		*		**	***		***		
5 5 歳 以上	正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	13.6	16.3	10.2	6.1	16.3	10.9	8.8	5.4	45.6	147
		2級のみ・取得希望なし	7.6	10.1	11.0	6.9	13.9	2.7	13.2	6.9	54.4	447
		有意水準		***		*		**	***		***	
	非正規職員	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり	11.7	20.6	12.9	10.1	16.9	7.7	27.0	10.1	37.1	326
	2級のみ・取得希望なし	9.8	16.4	16.4	3.3	23.0	4.1	18.0	10.7	39.3	122	
	有意水準		***		*		**	***		***		

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

年齢、雇用形態に無回答のものは掲載を省略した。

### 3. 利用者及び利用者の家族についての課題との関係

「働く上での悩み、不安、不満等」の最後に、利用者等との関係についてみる（図表4-13）。設問は、「あなたが利用者及び利用者の家族について、悩み、不安、不満等を感じていることは何ですか」として、「利用者に適切なケアができていないか不安がある」、「介護事故で利用者に怪我をおわせてしまう不安がある」など11の項目及び「特に悩み、不安、不満は感じていない」の計12項目について、あてはまるものすべてをあげてもらうものである。

資格取得類型別の回答状況をみると、「特に悩み、不安、不満は感じていない」割合が取得希望なし群で最も高いことにおいては、本節1及び2でみた「労働条件・仕事の負担」や「職場の人間関係等」と同様であるが、類型間の差は小さい。

年齢・雇用形態別にみても、資格取得類型による違いがみられる項目は、「労働条件・仕

事の負担」や「職場の人間関係等」の項目群と比べて少ない（図表4-14）。この中で、「利用者に適切なケアができていないか不安がある」、「利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない」については、若年・中年年齢層を中心に、取得希望あり群において他の類型と比べて高い区分が多いことが注目される。取得希望あり群において、自分自身のケアのスキルや対応能力に関する問題意識を持つ人が多いことがうかがえる。

図表4-13 利用者及びその家族についての悩み、不安、不満

利用者及びその家族についての悩み、不安、不満	MA %		
	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士
利用者に適切なケアができていないか不安がある***	37.2	50.3	49.4
利用者は何をやらせても当然と思っている***	26.3	19.7	19.5
利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない***	9.1	14.0	10.2
利用者と家族の希望が一致しない***	16.5	18.5	23.5
利用者や、その家族と人間関係がうまくいかない	4.5	5.1	5.6
禁じられている医行為を求められる	3.7	3.7	3.7
(医行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	10.3	11.5	10.1
利用者の家族が必要なサポート・理解をしてくれない***	11.1	13.1	18.5
良いと思ってやったことが利用者に理解されない*	18.1	16.2	15.2
介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者に怪我をおわせてしまう***	26.8	32.4	34.0
その他	2.2	1.4	2.0
利用者及びその家族について特に悩み、不安、不満等を感じていない***	20.4	16.6	13.4
n	1,446	2,350	5,372

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、 \*\*<0.01、 \*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

図表4-14 利用者及びその家族についての悩み、不安、不満（年齢・雇用形態別）

		MA %										n
年齢	雇用形態	利用者に適切なケアができていないか不安がある	利用者は何をやってもらっても当然と思っている	利用者の行動が理解できずに対処方法が分からない	利用者や、その家族と希望が一致しない	利用者や、その家族と関係がうまくいかない	禁じられている医行為を求められる	(医行為以外で)定められたサービス以外の仕事を要求される	利用者の家族が必ず必要なサポート・理解をしてくれない	良いと思うことが利用者に理解されない	介護事故(転倒、誤嚥その他)で利用者や家族に怪我をおわせてしまう	利用者及びその家族について特に悩み、不安、不満等を感じていない
		34歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	56.9	16.4	13.6	23.0	6.8	3.6	6.2	18.7	15.9
	非正規職員	56.4	16.6	19.6	18.6	5.7	5.3	10.3	12.1	18.6	36.0	15.2
	有意水準	47.5	18.8	11.9	11.9	2.0	4.0	5.0	11.9	10.9	27.7	18.8
	有意水準			**	**			**	**		*	*
34歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	56.4	13.9	8.9	18.6	7.5	3.6	12.9	14.3	16.1	30.4	15.0
	非正規職員	55.5	16.0	16.4	15.5	5.5	2.9	9.7	11.8	17.2	31.1	17.6
	有意水準	60.7	13.1	16.4	21.3	6.6	8.2	13.1	11.5	26.2	31.1	16.4
	有意水準			*	*							
35歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	48.6	16.0	9.8	26.0	5.7	4.4	9.0	20.8	17.1	36.5	13.3
	非正規職員	51.4	19.7	13.2	20.3	4.6	3.4	11.1	15.7	13.8	35.4	16.9
	有意水準	34.2	26.0	11.0	15.1	9.6	2.7	6.8	8.2	16.4	38.4	16.4
	有意水準	*	*	**	*				**			
34歳	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	45.9	23.1	8.1	22.0	5.0	4.5	11.8	15.2	13.9	24.1	18.4
	非正規職員	56.7	17.4	13.1	13.8	3.8	2.8	10.5	10.8	14.1	30.3	15.1
	有意水準	39.7	23.1	4.5	14.7	3.8	3.2	12.8	5.8	10.3	23.1	23.7
	有意水準	***	*	**	**				**			
45歳	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	45.6	20.2	9.5	24.6	4.5	2.7	9.6	20.5	15.3	32.9	13.1
	非正規職員	43.2	21.0	13.3	21.0	6.3	4.4	12.9	16.2	17.3	33.2	17.0
	有意水準	31.4	27.3	12.4	24.0	1.7	5.0	11.6	12.4	19.8	32.2	17.4
	有意水準	*	*									
45歳	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	47.6	22.0	8.6	22.2	4.2	2.9	17.6	18.1	12.8	25.8	14.3
	非正規職員	41.1	24.4	10.0	19.1	4.3	3.7	16.4	12.0	14.7	30.8	18.7
	有意水準	45.3	27.4	8.1	17.9	4.0	5.4	12.6	12.1	18.4	28.3	18.4
	有意水準								*			
55歳以上	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	41.9	26.9	8.6	23.6	5.1	4.4	10.7	18.1	13.7	34.7	11.4
	非正規職員	40.7	25.0	13.0	22.2	2.8	3.7	12.0	19.4	17.6	33.3	18.5
	有意水準	32.7	30.6	6.8	7.5	3.4	1.4	8.8	9.5	21.8	27.2	24.5
	有意水準	44.2	24.5	8.3	22.4	5.8	3.7	16.0	16.0	14.1	29.1	16.6
	有意水準	41.0	27.9	9.8	20.5	6.6	0.8	9.8	13.1	18.0	25.4	18.9
	有意水準	32.9	28.0	10.7	17.4	4.9	3.1	10.1	11.6	18.1	24.6	22.6
	有意水準	**	*					*				

χ<sup>2</sup>検定 \*\*\*<0.001, \*\*<0.01, \*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。年齢、雇用形態に無回答のものは掲載を省略した。

#### 4. 業務上の事故、仕事上のセクハラ等との関係

これまでみてきたように、取得希望あり群には、雇用形態を問わず、「利用者に適切なケアが提供できているか」という問題意識や「夜間に何か起こるのではないか」といった不安が大きい傾向がみられることから、自分自身のケアのスキルや難しい事態への対応能力の向上を図る必要性を感じることで資格取得意欲を高める一つの原動力となるのではないかと考えられる。

そこで、次に、業務上の事故や怪我、セクハラ・暴力等、困難な事態への遭遇経験と資格取得意欲との関係を見る。

##### ①業務上の事故や怪我、ヒヤリ・ハット体験

過去1年間に被った業務上の事故や怪我については、資格取得希望あり群と介護福祉士群では約4人に1人が遭遇しており、取得希望なし群と比べて経験割合が高い（図表4-15）。ヒヤリ・ハット経験については、介護福祉士群では7割弱、取得希望あり群では6割強であり、取得希望なし群との差が大きい。

年齢・雇用形態別に区分して違いをみると、実際の事故・怪我経験については資格取得類型による有意な差はなく、ヒヤリ・ハット経験については1区分（35～44歳・非正規職員）を除く各年齢・雇用形態区分で有意な差がみられた（図表4-16）。

業務上の事故やヒヤリ・ハット経験は、仕事を続ける上でネガティブに働く可能性がある一方、そのような経験を経て問題意識が高まることも考えられる。また、一定の問題意識を持っていることにより、ヒヤリ・ハットといった形で事故のリスクを未然に感知できる場合もあるだろう。資格取得意欲の類型別にみた結果からは、何らかの「危ない」経験をする、あるいはリスクに対する問題意識を持つ人において、前向きに資格取得に向かう傾向があることが推測される。資格取得を目指す人のそのような問題意識を、適切にサポートしていくことが必要である。

図表4-15 業務上の事故、ヒヤリ・ハットの経験

	過去1年間の業務上の事故、けが等の経験				過去1年間のヒヤリ・ハットの経験				n
	あった	なかった	無回答	計	あった	なかった	無回答	計	
介護福祉士資格あり	25.4	72.0	2.6	100.0	68.8	28.5	2.7	100.0	5,372
2級のみ・取得希望あり	25.8	72.0	2.3	100.0	62.8	35.3	2.0	100.0	2,350
2級のみ・取得希望なし 有意水準	16.9	79.8	3.3	100.0	45.9	50.3	3.8	100.0	1,446
				***				***	

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、 \*\*<0.01、 \*<0.05

図表 4-16 業務上の事故、ヒヤリ・ハットの経験（年齢・雇用形態別）

			過去1年間の業務上の事故、けが等の経験				過去1年間のヒヤリ・ハットの経験				n
			あった	なかった	無回答	計	あった	なかった	無回答	計	
3 4 歳 以下	正 規 職 員	介護福祉士	35.6	62.8	1.6	100.0	80.4	17.8	1.8	100.0	1324
		2級のみ・取得希望あり	34.3	64.2	1.4	100.0	74.9	23.6	1.4	100.0	495
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	23.8	72.3	4.0	100.0	51.5	45.5	3.0	100.0	101
	非 正 規 職 員	介護福祉士	25.4	72.5	2.1	100.0	68.2	28.6	3.2	100.0	280
		2級のみ・取得希望あり	25.2	73.1	1.7	100.0	57.1	40.8	2.1	100.0	238
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	23.0	70.5	6.6	100.0	55.7	37.7	6.6	100.0	61
3 5 歳	正 規 職 員	介護福祉士	27.8	70.2	2.0	100.0	74.1	24.5	1.4	100.0	1055
		2級のみ・取得希望あり	27.7	70.8	1.5	100.0	64.3	34.2	1.5	100.0	325
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	19.2	78.1	2.7	100.0	54.8	41.1	4.1	100.0	73
	非 正 規 職 員	介護福祉士	18.6	79.3	2.1	100.0	57.7	40.7	1.6	100.0	381
		2級のみ・取得希望あり	20.0	77.7	2.3	100.0	59.5	39.0	1.5	100.0	390
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	12.2	85.3	2.6	100.0	46.2	50.6	3.2	100.0	156
4 5 歳	正 規 職 員	介護福祉士	23.6	74.2	2.1	100.0	68.5	28.7	2.8	100.0	885
		2級のみ・取得希望あり	27.3	69.0	3.7	100.0	63.8	33.2	3.0	100.0	271
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	24.0	71.9	4.1	100.0	55.4	38.8	5.8	100.0	121
	非 正 規 職 員	介護福祉士	17.8	79.5	2.6	100.0	56.4	41.2	2.4	100.0	454
		2級のみ・取得希望あり	22.4	75.6	2.0	100.0	55.5	43.1	1.3	100.0	299
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	14.8	82.5	2.7	100.0	41.7	54.3	4.0	100.0	223
5 5 歳 以上	正 規 職 員	介護福祉士	20.2	76.0	3.8	100.0	65.9	30.7	3.4	100.0	475
		2級のみ・取得希望あり	16.7	75.9	7.4	100.0	57.4	35.2	7.4	100.0	108
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	19.7	78.9	1.4	100.0	49.7	48.3	2.0	100.0	147
	非 正 規 職 員	介護福祉士	13.2	81.6	5.2	100.0	47.5	46.9	5.5	100.0	326
		2級のみ・取得希望あり	17.2	82.0	0.8	100.0	56.6	43.4	0.0	100.0	122
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	13.6	83.4	2.9	100.0	40.0	57.0	2.9	100.0	447

χ<sup>2</sup>検定 \*\*\*<0.001、 \*\*<0.01、 \*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

雇用形態について無回答のものは掲載を省略した。

## ②仕事上のセクハラ、暴力等の経験

過去1年間に利用者から受けた仕事上のセクハラや暴力等の経験に関しても、事故やヒヤリ・ハット経験と似た傾向がうかがえる（図表4-17）。全体としては介護福祉士において経験した人の割合が高いが、介護福祉士群と取得希望あり群との差は小さく、この2類型と取得希望なし群との差が大きい。

年齢・雇用形態別にみても、有意差のある区分では、介護福祉士群及び取得希望あり群で経験割合が高いことは全体傾向と同様である（図表4-18）。セクハラや暴力等の経験は、仕事の上でのネガティブな経験であるにもかかわらず、資格取得希望を抑制する方向には働いていないことがうかがえる。

図表4-17 仕事上のセクハラ、暴力等の経験

	MA %		
	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士
セクハラ***	7.8	11.8	10.9
暴力***	10.0	19.7	24.1
暴言(直接的な言葉の暴力)***	22.8	32.3	34.8
利用者から保険外のサービスを求められた	16.7	17.1	15.4
家族から保険外のサービスを求められた	7.0	7.0	7.8
その他	1.1	0.9	1.0
上記のような経験をしたことはない***	49.8	43.4	39.8
n	1,446	2,350	5,372

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

図表4-18 仕事上のセクハラ、暴力等の経験(年齢・雇用形態別)

			MA %						n
			セクハラ	暴力	暴言(直接的な言葉の暴力)	利用者から保険外のサービスを求められた	家族から保険外のサービスを求められた	上記のような経験をしたことはない	
34歳以下	正規職員	介護福祉士	11.7	32.9	38.4	9.3	5.5	41.7	1,324
		2級のみ・取得希望あり	11.9	26.9	36.2	12.9	6.1	43.4	495
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	10.9	12.9	25.7	5.9	5.9	56.4	101
	非正規職員	介護福祉士	13.9	21.1	26.8	16.8	7.1	47.9	280
		2級のみ・取得希望あり	12.6	21.8	26.5	11.3	4.6	50.8	238
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	9.8	9.8	27.9	18.0	9.8	49.2	61
35~44歳	正規職員	介護福祉士	10.0	27.7	36.7	13.9	10.0	40.3	1,055
		2級のみ・取得希望あり	8.3	19.4	38.2	16.6	8.3	39.4	325
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	5.5	23.3	27.4	6.8	6.8	49.3	73
	非正規職員	介護福祉士	16.0	17.6	26.5	21.8	10.0	42.8	381
		2級のみ・取得希望あり	12.8	14.6	27.7	19.0	6.7	47.4	390
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	9.6	5.1	20.5	23.1	5.1	46.8	156
45~54歳	正規職員	介護福祉士	10.6	25.4	40.0	14.8	6.4	34.8	885
		2級のみ・取得希望あり	12.5	25.5	35.1	16.6	7.4	39.5	271
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	8.3	16.5	28.9	14.0	9.1	46.3	121
	非正規職員	介護福祉士	11.2	14.1	29.3	25.3	9.0	38.8	454
		2級のみ・取得希望あり	17.4	15.4	34.4	23.1	8.4	39.8	299
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	9.9	6.3	25.1	15.2	8.1	50.2	223
55歳以上	正規職員	介護福祉士	6.3	17.5	36.6	16.2	8.8	37.7	475
		2級のみ・取得希望あり	4.6	16.7	31.5	20.4	7.4	36.1	108
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	4.8	11.6	21.8	15.0	5.4	52.4	147
	非正規職員	介護福祉士	7.7	11.0	23.9	23.9	8.3	40.8	326
		2級のみ・取得希望あり	12.3	9.8	23.0	20.5	9.0	45.1	122
		2級のみ・取得希望なし 有意水準	5.8	7.8	20.8	20.4	6.5	49.9	447

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

雇用形態について無回答のものは掲載を省略した。

## 5. 職場における取組み・配慮との関係

これまでみてきたように、介護福祉士の資格を取得した人、これから取得したいと希望している人は、資格取得を考えていない人と比較して、仕事に関連する悩みや不安、危険を感じる経験などを多く抱えている傾向がみられる。

介護福祉士においては、資格を取得したことや専門能力の向上に伴って、問題意識や要求水準も高まったということが考えられる。職場の側でも、その問題意識に応え、資格を取得してよかったと思える環境をつくることができるかどうかが介護福祉士の就業意欲や職場定着を高める上で重要となるだろう。

一方、これから資格を取得したいと考えている人に関しては、ネガティブな経験を乗り越えるモチベーションを高めるためにも、個人の能力向上意欲に頼るのみではなく、職場が背中を押す役割を果たせるかどうかということがきわめて重要であると考えられる。

このような観点から、職場において行われる取組みの現状および有用度への評価をたずねた設問について、資格取得類型別の認識をみていく（図表4-19）。

設問では、「あなたの職場では1～14に掲げる取組みが十分行われていますか。また、その取組みは働く上での悩み、不安、不満を解消する上で役立つと思いますか」として、14項目（「その他」を含む）への評価をたずねている。

まず、職場での取組みが「十分行われているか」という現状に対する評価に関しては、全般に、取得希望あり群において評価が高い項目が多い。一方、「役に立つと思うか」に関しては、介護福祉士群による評価が高い項目が多いが、取得希望あり群との差は小さい。

図表4-19 職場での取組みに対する評価

職場での取組み	十分行われている				役に立つと思う			
	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士	有意水準	2級のみ・取得希望なし	2級のみ・取得希望あり	介護福祉士	有意水準
	キャリアアップの仕組みの整備	16.5	22.3	19.0	***	26.8	35.7	33.6
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	27.0	31.8	24.8	***	27.9	36.9	37.0	***
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	40.6	43.5	36.7	***	29.3	36.0	38.3	***
採用時における賃金・勤務時間の説明	44.1	50.3	41.5	***	25.3	30.3	29.8	**
介護能力を適切に評価するしくみ	15.4	18.3	14.2	***	22.5	27.6	31.2	***
介護能力に見合った仕事への配置	25.6	25.8	18.9	***	22.8	29.2	29.9	***
介護能力の向上に向けた研修	31.1	35.0	35.5	**	33.7	42.2	44.9	***
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	30.7	38.9	28.9	***	26.8	35.3	35.8	***
介護に関する事例検討会の開催	27.5	29.4	26.0	**	26.6	34.0	35.7	***
定期的な健康診断の実施	47.4	59.1	68.3	***	30.7	36.3	41.5	***
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	13.2	15.3	13.5		23.2	29.6	31.1	***
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制作り	33.4	36.6	39.4	***	30.1	36.4	39.2	***
事業所の相談援助体制の設定	17.3	16.1	14.7	*	18.3	23.2	23.1	***
その他	1.2	1.2	0.7		2.2	2.3	1.2	***
役立つと考えられることはない	—	—	—		2.4	2.0	1.9	
n	1,446	2,350	5,372		1,446	2,350	5,372	

$\chi^2$  検定 \*\*\*<0.001、 \*\*<0.01、 \*<0.05

網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。

また、職場での取組について、「悩み等の解消に役立つと思う」という期待と「十分行われている」という現状評価との差（「役立つと思う比率」－「十分行われている比率」）をみると（図表4-20）、「キャリアアップの仕組みの整備」、「介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入」については各群に共通して期待度が現状評価を大きく上回っている。このほか取得希望あり群では、「介護能力を適切に評価するしくみ」、「介護能力の向上に向けた研修」など、キャリア形成や能力開発関連の項目で期待度が現状評価を大きく上回る。能力開発・評価に関する取組みの充実などにより、資格取得意欲の高い人の期待に応えることが望まれる。

図表4-20 職場での取組みの現状評価と悩み等の解消のための期待度との差  
（「悩みの解消に役立つ」比率－「十分行われている」比率）

職場での取組み	2級のみ・ 取得希望 なし	2級のみ・ 取得希望 あり	介護福祉 士
	キャリアアップの仕組みの整備	10.2	13.4
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	1.0	5.1	12.2
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	-11.3	-7.5	1.6
採用時における賃金・勤務時間の説明	-18.7	-20.0	-11.7
介護能力を適切に評価するしくみ	7.1	9.2	17.0
介護能力に見合った仕事への配置	-2.8	3.4	10.9
介護能力の向上に向けた研修	2.6	7.2	9.4
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	-3.9	-3.6	6.9
介護に関する事例検討会の開催	-0.9	4.6	9.6
定期的な健康診断の実施	-16.7	-22.8	-26.8
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	10.0	14.3	17.6
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制作り	-3.3	-0.1	-0.2
事業所の相談援助体制の設定	1.0	7.1	8.4
その他	1.0	1.1	0.5
n	1,446	2,350	5,372

年齢・雇用形態別に職場の取組みへの評価をみていくと、34歳以下の正規職員において、取得希望あり群での評価が高い項目が多いことが目立つ（図表4-21）。その他の区分で取得希望あり群の評価が最も高い項目として、「キャリアアップの仕組みの整備」及び「働き方やキャリア等について上司と相談する機会」（35～44歳・非正規職員）、「採用時における賃金・勤務時間の説明」（35～44歳・正規職員、45～54歳・非正規職員）、「実務の中で上司や先輩から指導・助言を受ける機会」（35～44歳・正規・非正規職員）などがあり、職場において相談や説明の機会を得られることについて、肯定的に評価している人が多い。

「役立つと思う取組み」に関する評価について年齢・雇用形態別にみると、45～54歳・正規職員において、資格取得類型による違いが他の区分と比べて大きく、取得希望あり群が「役立つ」とする割合が高い項目が多い（図表4-22）。

このように、資格取得を希望する人は、現在の職場での取組みを肯定的に評価する割合が相対的に高く、働く上での不安・不満等を解消する上で役立つという期待も大きい。職場での取組みが資格取得意欲を支える力となりうることを示している。

図表4-21 職場での取組みが十分行われていると評価する割合（年齢・雇用形態別）

年齢	雇用形態	評価項目										MA (%)	n		
		キャリアアップの仕組みの整備	働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時に決める際の賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価するしくみ	介護能力を介護能力に見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受けられる機会の設定	介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施			介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制作り
34歳以下	介護福祉士	23.6	28.4	37.5	42.9	18.0	20.1	41.8	33.4	27.9	73.3	17.6	43.9	17.4	1,324
	2級のみ・取得希望あり	32.1	39.8	48.7	57.4	26.9	31.7	46.5	49.3	36.0	69.3	23.0	43.2	19.8	495
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	20.8	33.7	42.6	46.5	20.8	29.7	31.7	35.6	26.7	47.5	15.8	38.6	18.8	101
35歳以下	介護福祉士	19.3	33.6	42.9	53.2	17.5	22.5	41.8	35.7	26.4	64.6	16.4	37.9	14.6	280
	2級のみ・取得希望あり	21.0	36.1	42.4	54.2	23.5	31.1	38.7	44.5	29.0	59.7	16.0	42.0	18.5	238
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	26.2	36.1	47.5	60.7	21.3	32.8	34.4	50.8	26.2	57.4	26.2	42.6	23.0	61
36歳以下	介護福祉士	20.3	24.6	37.2	40.1	15.9	19.4	36.0	28.9	26.2	70.3	13.6	40.6	16.1	1,055
	2級のみ・取得希望あり	18.5	27.7	38.5	47.4	16.0	21.8	32.9	38.8	27.1	61.5	13.2	35.4	16.6	325
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	20.5	26.0	38.4	46.6	20.5	21.9	28.8	35.6	27.4	52.1	19.2	34.2	24.7	73
37歳以下	介護福祉士	14.4	25.2	37.3	40.4	10.5	20.2	27.8	27.8	21.8	57.5	9.2	32.5	12.6	381
	2級のみ・取得希望あり	22.1	36.2	45.1	48.7	14.9	24.4	29.5	40.0	26.9	50.5	13.3	34.1	15.4	390
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	21.8	30.1	47.4	44.2	19.2	30.8	32.1	37.8	25.0	40.4	19.2	34.0	25.6	156
38歳以下	介護福祉士	17.7	23.2	34.5	38.5	12.8	16.6	33.0	25.6	23.7	69.7	13.6	39.1	14.1	885
	2級のみ・取得希望あり	20.3	25.5	39.5	45.0	14.4	18.8	28.0	28.8	22.5	58.3	10.0	31.0	9.6	271
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	14.9	26.4	32.2	42.1	13.2	20.7	24.0	23.1	20.7	48.8	11.6	27.3	10.7	121
39歳以下	介護福祉士	15.2	22.2	34.6	40.5	7.9	16.3	29.1	26.7	22.5	62.3	9.9	32.6	10.1	454
	2級のみ・取得希望あり	20.1	24.4	40.5	50.2	14.0	24.7	32.1	34.4	29.1	60.5	13.0	34.4	14.7	299
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	16.1	27.4	39.9	41.3	13.5	26.0	28.7	31.8	30.0	45.3	12.6	30.0	17.0	223
40歳以上	介護福祉士	16.8	22.5	38.1	42.7	14.5	19.8	34.7	27.8	29.1	72.2	10.9	40.6	13.7	475
	2級のみ・取得希望あり	17.6	29.6	43.5	47.2	15.7	29.6	31.5	29.6	29.6	51.9	13.9	32.4	13.9	108
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	13.2	23.3	40.3	42.3	12.3	23.3	33.6	26.8	34.0	59.2	13.6	40.1	19.7	147
41歳以上	介護福祉士	13.5	17.5	35.9	40.8	9.2	16.0	30.1	24.5	31.3	61.7	8.9	38.3	11.0	326
	2級のみ・取得希望あり	14.8	21.3	46.7	45.9	12.3	23.0	31.1	28.7	29.5	50.0	13.9	31.1	13.9	122
	2級のみ・取得希望なし 有意水準	13.2	23.3	40.3	42.3	12.3	23.3	33.6	26.8	27.7	46.8	8.1	31.5	12.8	447

χ2検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05 網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。年齢・雇用形態については無回答は掲載を省略。

図表4-22 役立っと思う職場での取り組み（年齢・雇用形態別）

年齢	雇用形態	キャリアアップの整備	働き方や仕事先容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	採用時における賃金・勤務時間の説明	介護能力を適切に評価するしくみ	介護能力を見合った仕事への配置	介護能力の向上に向けた研修	実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受けやすい環境		介護に関する事例検討会の開催	定期的な健康診断の実施	介護しやすい施設づくりや福祉機器の導入	事故やトラブルへの対応	事業所の相対的な競争力の向上	MA (%)
									介護能力を適切に評価するしくみ	介護能力を見合った仕事への配置						
34歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	40.0	43.9	44.5	35.2	38.9	34.7	48.6	39.7	38.1	39.7	39.7	39.1	41.8	27.5	2.2
		42.6	41.4	38.8	30.5	34.3	32.7	32.7	42.8	36.0	40.2	34.7	34.1	37.6	29.7	1.6
		37.6	37.6	27.7	30.7	32.7	30.7	30.7	40.6	34.7	34.7	35.6	35.6	39.6	34.7	28.7
35歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	30.7	35.0	35.7	32.1	32.1	31.4	41.1	38.6	37.9	38.6	38.9	33.2	42.1	23.9	1.8
		34.9	35.7	35.3	31.1	28.6	32.8	32.8	42.9	39.1	31.5	34.9	31.9	37.0	26.1	0.8
		36.1	47.5	42.6	37.7	37.7	31.1	31.1	31.1	44.3	27.9	34.4	34.4	26.2	37.7	24.6
36歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	34.7	38.5	38.1	29.6	33.3	31.0	46.5	36.2	35.4	36.2	41.3	30.1	39.1	22.5	2.6
		39.1	39.1	36.0	32.9	29.8	31.4	31.4	44.3	39.7	34.8	38.2	29.5	39.1	24.6	2.5
		30.1	34.2	27.4	26.0	28.8	32.9	32.9	30.1	35.6	26.0	31.5	31.5	28.8	20.5	4.1
37歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	32.8	38.6	35.2	31.8	28.3	28.3	43.0	39.4	34.1	34.1	42.0	29.9	37.8	23.1	3.4
		29.7	35.9	36.4	28.2	23.6	25.6	25.6	40.3	34.6	26.7	33.8	24.1	33.3	20.8	2.6
		28.8	32.1	31.4	27.6	25.0	26.9	26.9	33.3	30.1	24.4	28.2	28.2	31.4	18.6	5.1
38歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	30.3	33.4	34.8	26.3	28.1	26.8	43.5	31.3	31.0	31.0	43.6	31.4	38.0	21.1	1.1
		35.4	36.5	35.1	32.8	25.5	26.9	26.9	41.0	32.1	35.1	40.2	29.9	34.7	19.9	3.3
		21.5	20.7	27.3	20.7	15.7	14.0	14.0	27.3	19.0	21.5	33.9	18.2	27.3	14.0	2.5
39歳以下	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	33.9	36.1	40.5	28.2	27.1	29.3	42.7	35.5	38.3	38.3	44.1	24.2	37.4	22.2	2.0
		36.1	37.1	38.1	36.1	25.4	29.4	29.4	43.1	37.8	35.8	45.2	26.4	40.5	20.4	2.0
		28.3	29.1	33.2	23.8	22.0	21.5	21.5	34.5	26.9	27.8	37.2	23.3	31.4	21.1	2.7
40歳以上	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	29.5	31.6	38.9	24.8	26.7	24.6	42.3	32.2	36.4	36.4	44.2	26.1	37.7	22.1	0.6
		35.2	34.3	29.6	21.3	28.7	30.6	30.6	46.3	29.6	33.3	34.3	33.3	36.1	22.2	2.8
		27.9	24.5	28.6	22.4	18.4	19.7	19.7	38.8	24.5	25.2	27.2	24.5	25.9	15.0	1.4
41歳以上	介護福祉士 2級のみ・取得希望あり 2級のみ・取得希望なし 有意水準	27.0	27.0	32.5	24.5	22.1	26.4	45.4	32.5	36.8	36.8	41.7	19.6	37.1	18.1	0.9
		26.2	23.0	32.8	22.1	20.5	24.6	24.6	40.2	25.4	34.4	29.5	17.2	30.3	17.2	0.8
		22.8	23.9	28.2	24.4	19.7	21.7	21.7	34.2	24.2	29.3	28.4	17.9	31.1	16.8	1.3

χ2検定 \*\*\*<0.001、\*\*<0.01、\*<0.05 網掛けは、有意な項目について、最も回答割合が高いもの。年齢・雇用形態について無回答は掲載を省略。

## 第5節 資格取得と現在の仕事への満足感

ここでは、資格取得類型によって、現在の仕事への満足感が異なるかを検討する。この調査においては、仕事への満足感は11の側面、および職業生活全体についてみることができる。

図表4-23は回答を数値化（「満足」=5、「やや満足」=4、「普通」=3、「やや不満足」=2、「不満足」=1としたときの相加平均、無回答は除外）して、資格類型別にその平均値を示したものである。統計的には、「福利厚生」を除くすべての面において、資格取得類型によって満足状況は異なっていた（一元配置分散分析、有意水準1%）。

まず、すでに介護福祉士資格を有している人は、すべての面において最も満足感が低かった。これはこれまでも指摘されていることであるが、有資格者の方が期待水準が高いことが背景にあると考えられる。

所持資格はホームヘルパー2級のみだが介護福祉士資格を取る希望のある人の場合は、「仕事の内容・やりがい」、「職場の人間関係・コミュニケーション」、「職場の環境」、「キャリアアップの機会」の満足感が他の類型より高い。一方、同資格で介護福祉士取得を希望していない人の場合は、「労働時間・休日等の労働条件」、「勤務体制」、「人事評価・処遇の在り方」についての満足感が他の類型より高く、さらに全体として低い水準である「賃金」に関する満足感についても、他の類型に比べれば高くなっている。

図表4-23 現在の仕事への満足感の程度

所持資格と受験予定	内容・やりがい***	キャリアアップの機会**	賃金***	労働時間等労働条件***	勤務体制***	評価・処遇のあり方***	職場環境***	職場の人間関係***	福利厚生***	教育訓練のあり方***	職業生活全体***
介護福祉士資格あり	3.47	2.96	2.47	2.96	2.93	2.74	3.17	3.34	3.02	2.83	3.02
2級のみ・取得希望あり	3.65	3.05	2.57	3.12	3.09	2.96	3.39	3.56	3.04	2.94	3.17
2級のみ・取得希望なし	3.58	2.98	2.75	3.21	3.19	3.03	3.38	3.50	2.95	2.93	3.13
合計	3.53	2.99	2.54	3.04	3.01	2.84	3.26	3.42	3.02	2.87	3.08

有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、網掛けは最も得点の高いもの

注：「満足」=5、「やや満足」=4、「普通」=3、「やや不満足」=2、「不満足」=1としたときの相加平均（無回答は除外）。

各セルのNは章末。

次の図表4-24は、雇用形態が異なることが満足を感じる側面の違いに影響しているのではないかと考えて、正規職員と非正規職員に分けて、諸側面についての満足感の程度をみたものである。正規職員と非正規職員を比べると、「キャリアアップの機会」「福利厚生」は正規職員の方が満足度は高いが、これ以外のほとんどの側面及び全体の満足感是非正規職員の方が高い（「教育訓練の在り方は」有意差なし）。それぞれの雇用形態内での資格類型による違いに注目すると、正規職員でも非正規職員もあまり変わらない。すなわち図表4-23でみた、介護福祉士群は全般に満足度が低く、取得希望あり群では「仕事の内容・やりがい」、「職場の人間関係・コミュニケーション」などの、取得希望なし群では「労働時間・休日等の労働条件」、「賃金」などの満足度が高いという傾向は変わらない。

図表 4-24 雇用形態別現在の仕事への満足感の程度

	所持資格と受験予定	内容・やりがい	キャリアアップの機会	賃金	労働時間等労働条件	勤務体制	評価・処遇のあり方	職場環境	職場の人間関係	福利厚生	教育訓練のあり方	職業生活全体
正規職員	介護福祉士資格あり	3.45	3.02	2.44	2.91	2.87	2.74	3.14	3.32	3.07	2.85	3.01
	2級のみ・取得希望あり	3.63	3.13	2.50	3.04	3.02	2.94	3.34	3.51	3.09	2.94	3.13
	2級のみ・取得希望なし	3.46	3.04	2.64	3.08	3.09	3.04	3.30	3.40	3.07	2.95	3.13
	合計	3.49	3.05	2.47	2.95	2.92	2.81	3.20	3.37	3.08	2.88	3.05
	有意水準	***	**	**	***	***	***	***	***		**	***
非正規職員	介護福祉士資格あり	3.53	2.82	2.54	3.09	3.06	2.75	3.25	3.41	2.89	2.78	3.05
	2級のみ・取得希望あり	3.68	2.95	2.64	3.22	3.16	2.97	3.44	3.61	2.98	2.92	3.21
	2級のみ・取得希望なし	3.62	2.94	2.79	3.26	3.22	3.00	3.39	3.52	2.89	2.91	3.12
	合計	3.60	2.89	2.63	3.17	3.13	2.88	3.35	3.50	2.92	2.86	3.12
	有意水準	***	***	***	**	**	***	***	***		***	***

有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、網掛けは最も得点の高いもの。

注：「満足」=5、「やや満足」=4、「普通」=3、「やや不満足」=2、「不満足」=1  
としたときの相加平均（無回答は除外）。

各セルのNは章末。

次の図表 4-25 は、これを年齢段階別に見たものである。年齢と満足感との関係は単純ではなく、「仕事の内容・やりがい」「賃金」「労働時間」「勤務体制」などは55歳以上の高齢層の満足感が高く、一方、「キャリアアップの機会」「職場環境」「福利厚生」などは34歳以下の若年層が高い。35歳から54歳の層はその間に位置することが多く、若い層が満足していることが多い側面と、高齢層が満足していることが多い側面とに分かれている。

図表 4-25 年齢段階別現在の仕事への満足感の程度

	資格取得類型	内容・やりがい	キャリアアップの機会	賃金	労働時間等労働条件	勤務体制	評価・処遇のあり方	職場環境	職場の人間関係	福利厚生	教育訓練のあり方	職業生活全体
34歳以下	介護福祉士資格あり	3.42	2.99	2.41	2.97	2.87	2.75	3.18	3.34	3.10	2.83	3.01
	2級のみ・取得希望あり	3.69	3.17	2.57	3.21	3.15	3.06	3.56	3.74	3.17	3.07	3.25
	2級のみ・取得希望なし	3.70	3.18	2.84	3.30	3.23	3.19	3.58	3.60	3.20	3.16	3.32
	合計	3.52	3.05	2.48	3.06	2.98	2.87	3.31	3.48	3.13	2.92	3.10
	有意水準	***	***	***	***	***	***	***	***		***	***
35～44歳	介護福祉士資格あり	3.45	2.96	2.48	2.97	2.95	2.75	3.18	3.36	3.05	2.83	3.02
	2級のみ・取得希望あり	3.69	3.01	2.60	3.15	3.14	2.96	3.39	3.58	3.06	2.95	3.16
	2級のみ・取得希望なし	3.62	3.02	2.73	3.36	3.25	3.06	3.41	3.53	3.01	2.91	3.16
	合計	3.54	2.98	2.54	3.06	3.04	2.85	3.26	3.44	3.05	2.88	3.08
	有意水準	***		**	***	***	***	***	***		*	**
45～54歳	介護福祉士資格あり	3.48	2.95	2.44	2.92	2.92	2.70	3.14	3.31	2.98	2.83	3.02
	2級のみ・取得希望あり	3.59	2.96	2.52	3.02	2.97	2.86	3.25	3.39	2.91	2.80	3.11
	2級のみ・取得希望なし	3.45	2.91	2.63	3.03	3.02	2.91	3.26	3.39	2.87	2.86	2.99
	合計	3.50	2.94	2.49	2.96	2.94	2.77	3.19	3.34	2.94	2.83	3.04
	有意水準	*		**			***	*				*
55歳以上	介護福祉士資格あり	3.60	2.95	2.60	2.96	2.99	2.77	3.23	3.38	2.90	2.81	3.06
	2級のみ・取得希望あり	3.61	3.05	2.57	2.99	3.03	2.84	3.24	3.36	2.90	2.82	3.07
	2級のみ・取得希望なし	3.62	2.97	2.82	3.25	3.26	3.06	3.39	3.51	2.92	2.92	3.16
	合計	3.61	2.97	2.68	3.07	3.10	2.88	3.29	3.43	2.91	2.85	3.10
	有意水準			***	***	***	***	**	*			

有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、\*<.05、網掛けは最も得点の高いもの。

注：「満足」=5、「やや満足」=4、「普通」=3、「やや不満足」=2、「不満足」=1  
としたときの相加平均（無回答は除外）。

各セルのNは章末。

さて、このそれぞれの年齢層の中で資格取得類型による違いを見ると、介護福祉士有資格者の満足度が低い点ほどの年齢層でも共通している。

取得希望なし群では、「賃金」「人事評価・処遇の在り方」に満足な人が多い点ほどの年齢でも共通している。「労働時間」「勤務体制」「職場環境」は、45～54歳層では有意ではないが、数値は他類型よりやや高く、おおむねの傾向は維持されている。

取得希望あり群では、年齢計では満足度が高い側面であったものが有意ではなくなる傾向が見られた。「仕事の内容、やりがい」は35～54歳では高いといえるが、他では取得希望なし群と変わらなかった。「職場の人間関係」は44歳以下では高いが、それ以上ではやはり取得希望なし群と変わらない。「キャリアアップの機会」や「職場環境」は、取得希望なし群と変わらないか逆転している。年齢別に検討するとこのような変化が現われるのは、資格取得希望者の満足度の特徴と認識していたものに、資格取得希望者に多い中堅から若手の年齢層が持つ特徴が強く反映されていたからだと推測される。むしろ年齢による特徴と考えたほうがいいものが混在していたということである。こうした中で、取得希望なしの者のほうが取得希望ありの者よりも労働時間をはじめとする諸条件に満足している比率が高いという点は、年齢に関わりない特徴として指摘できる。

さて、ここまでみてきた介護福祉士資格取得を希望する人とならない人の間の満足の違いには、それぞれが重視する側面の違いが表れているのではないだろうか。

そこで、職業生活全般への満足感に対してどのような側面の満足感の影響が大きいのか、すなわち職業生活満足感の構造について、資格類型によって違いがあるかを検討してみる。これが異なるのなら、低位資格のみを所持する従業員への雇用管理の在り方は、高位資格を取る希望がある者とならない者によって考慮すべきポイントが異なることになる。

図表4-26では、「職業生活全体への満足感」の程度（1～5点）に、他の諸側面の満足感がどの程度の影響を及ぼしているかを検討したものである。数値は標準化係数で、\*は統計的に有意な変数を示す（有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、\*<.05）。標準化係数の値が大きいほど「職業生活全体への満足感」に与えている影響が大きいといえる。

モデル（1）～（3）が、10の満足感の諸側面と「職業生活全体への満足感」の関係を見たものである。いずれのモデルでも共通しているのが「キャリアアップの機会」が有意な変数ではないこと、また、「教育訓練・能力開発の在り方」が標準化係数の最も大きい変数があることである。とりわけ取得希望なし群の「教育訓練・能力開発の在り方」の係数値は大きい。資格取得希望とはかかわりなく、職場における教育訓練が職業生活全体の満足感に影響する重要なポイントだといえる。

一方、取得希望がある人とならない人の差に注目すると、「労働時間・休日等の労働条件」が、取得希望あり群では有意だが取得希望なし群では有意ではない。また、「職場の環境」も取得希望なし群では弱い関係である。この2点が弱いところが、他の類型と比べたときの取得希望なし群の満足感の構造の特徴だろう。さらに「調整済みR<sup>2</sup>乗」の値を見ると、モデル（2）

(3) に比べてモデル (1) の値は小さい。つまりここで挙げられた諸側面で説明できる部分が小さいということで、取得希望なし群の場合は、「職業生活全体の満足感」がここに挙げられていないほかの要因の影響をより受けているということである。

表の右側、モデル (4) ～ (6) は、正規職員であるか否かという雇用形態変数（ダミー変数）、また、年齢変数（55 歳以上を基準としたダミー変数にして投入）を合わせて投入した場合の結果である。これを合わせて入れることで、この 2 つの要因の影響を除いた時の、10 の諸側面と「職業生活全体への満足感」の関係を見ることが出来る。この結果は、モデル (1) ～ (3) とほとんど変わらない。すなわち、年齢や雇用形態によって職業満足感の構造はあまり変わらないということである。

図表 4-26 仕事への満足感の構造  
(職業生活全体への満足感を目的変数とした重回帰分析)

	モデル(1) 2級のみ・取 得希望なし	モデル(2) 2級のみ・取 得希望あり	モデル(3) 介護福祉士 資格あり	モデル(4) 2級のみ・取 得希望なし	モデル(5) 2級のみ・取 得希望あり	モデル(6) 介護福祉士 資格あり
仕事の内容・やりがい	0.102 ***	0.163 ***	0.160 ***	0.102 ***	0.168 ***	0.157 ***
キャリアアップの機会	0.021	0.031	0.023	0.010	0.031	0.023
賃金	0.058 **	0.102 ***	0.102 ***	0.065 **	0.101 ***	0.102 ***
労働時間・休日等の労働条件	0.047	0.064 **	0.034 **	0.057 *	0.066 **	0.030 *
勤務体制	0.128 ***	0.063 **	0.064 **	0.118 ***	0.067 **	0.067 ***
人事評価・処遇のあり方	0.104 ***	0.113 ***	0.074 **	0.109 ***	0.109 ***	0.075 ***
職場の環境	0.058 *	0.122 ***	0.170 **	0.065 *	0.123 ***	0.170 ***
職場の人間関係・コミュニケーション	0.108 ***	0.125 ***	0.096 **	0.106 ***	0.123 ***	0.095 ***
福利厚生	0.136 ***	0.088 ***	0.100 **	0.131 ***	0.090 ***	0.105 ***
教育訓練・能力開発のあり方	0.315 ***	0.225 ***	0.265 **	0.308 ***	0.225 ***	0.265 ***
正規雇用(ダミー)				0.016	-0.009	-0.014
34歳以下(ダミー)				0.001	-0.002	-0.016
35-44歳(ダミー)				-0.002	-0.010	-0.021
45-54歳(ダミー)				-0.032	0.026	-0.008
調整済 R2 乗	0.495	0.636	0.607	0.496	0.636	0.605
N	1,247	2,201	5,081	1,158	2,106	4,914

注：それぞれの側面、および職業生活全体への満足度の評価を、「満足」=5、「やや満足」=4、「普通」=3、「やや不満足」=2、「不満足」=1 として数値化した。無回答は除外。  
有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、\*<.05

以上の検討から、まず、職業生活の満足感を高めるためには、資格類型に関わらず、教育訓練・能力開発への満足感を高めるような施策が重要であることが指摘できる。それは必ずしも上位資格に結びつくものでなくとも良い。ヘルパー2 級資格のみで介護福祉士資格の取得を希望しない人でも満足のいく教育訓練の機会を設けることが重要である。

また、介護福祉士資格の取得を希望していない人の場合、賃金や労働時間、評価のあり方など、さまざまな側面で相対的に満足感の高い人が多い。介護福祉士有資格者がこれらに不満を感じる人が多いことと対照的である。仕事の諸側面の満足が全体の満足にどう影響するかについては相互の違いは小さいが、資格取得の希望のない人では、仕事の諸側面以外要素の影響が大きい。おそらくこの辺りに生活の中での仕事の位置づけ（価値観）の違い

があるのであろう。介護労働者の就業継続を図る施策という当初の観点にもどると、上位資格取得を目指すことはないが今の仕事にはそこそこ満足であるという人たちの視点に立った施策の検討も必要だということではないだろうか。

一方、資格取得を希望する人たちは「仕事の内容、やりがい」「キャリアアップの機会」「職場環境」「教育訓練の在り方」の満足感が高かったものの、年齢を統制すると、はっきりしなくなる。しかし、この層が資格取得非希望者に比べると相対的にもろもろの条件に不満足感があることは明らかなので、それが資格取得への意欲につながっている可能性は高い。その意欲に応える能力開発機会を整備することは間違いなく必要な施策だろう。

## 第6節 資格取得と就業継続についての意志

介護福祉士資格の所持および取得希望状況によって、介護の仕事続ける意志は異なるのだろうか。

この調査において仕事継続意志は「勤務先を問わず、今の仕事をいつまで続けたいか」「今の勤務先にいつまで勤めたいか」の2つの形で問われている。社会的には、勤務先を問わず介護労働者として就業継続することが重要であるが、そのための施策としては、勤務先における就業継続を促進するような雇用管理の改善が重要だと考えられるので、この2面を合わせて検討する。

さて、この設問に対する選択肢は、「半年程度」「1～2年程度続けたい」「3～5年程度続けたい」「6～10年程度続けたい」「働き続けられる限り」「わからない」となっているが、この選択肢は、回答者の年齢によって異なって受け止められる可能性がある。例えば、定年間近の人にとっては、「3～5年程度」も「働き続けられる限り」も同じような意味で受け止められるかもしれない。そこで、図表4-27では、これを年齢段階別に示した。予想通り、50歳以上の人の場合、「3～5年程度」や「6～10年程度」がそれ以下の年齢層に比べて大幅に増えている。就業継続の意志を示す変数として有効なのは49歳以下程度かと思われる。ただし、資格取得希望のない人は50歳代以上に多いので、50歳以上をすべて除外すると分析対象が偏りすぎるきらいがある。

さらに、就業し続けたい年数の程度が勤続意志の強さかという点、それも一律の解釈は難しい。「半年程度」から「6～10年程度」の期間別の分布は複雑な増減の傾向を見せ、勤続意志のみでなく、出産・育児期の一時的な離職などキャリア設計上の別の側面が影響している可能性が感じられる。

そこで、ここでは勤続意志を示す変数としては、「働き続けられる限り」を選んだか否かだけを採用することにしたい。その上で、対象とする年齢を54歳までとして、この範囲で、資格取得類型によって就業継続意志が異なるかを見る。

図表4-27 年齢段階別就業継続意志

## ①勤務先を問わず、今の仕事を継続する意志（年齢段階別）

	半年程度	1～2年程 度続けた い	3～5年程 度続けた い	6～10年 程度続け たい	働き続け られるかぎ り	わからな い	無回答	合計
19歳以下	0.0	7.1	17.9	0.0	60.7	14.3	0.0	28
20～24歳	2.3	9.2	14.0	3.0	45.5	25.7	0.2	435
25～29歳	2.0	6.0	6.4	3.3	49.2	32.8	0.4	923
30～34歳	2.1	3.9	6.5	2.9	55.9	28.1	0.6	1,165
35～39歳	0.6	3.5	4.7	2.4	64.4	24.2	0.2	1,250
40～44歳	0.7	2.3	5.6	4.2	62.5	24.2	0.5	1,196
45～49歳	1.0	2.7	7.0	7.2	62.2	19.0	0.9	1,250
50～54歳	1.6	4.2	10.8	11.8	54.6	15.8	1.2	1,106
55～59歳	0.9	7.0	20.5	9.2	50.6	10.9	1.0	935
60～64歳	2.3	14.6	21.8	2.8	48.7	8.7	1.1	610
65歳以上	2.1	19.3	14.4	1.1	53.5	9.1	0.5	187
不明	2.4	6.0	10.8	6.0	39.8	26.5	8.4	83
合計	1.4	5.4	9.8	5.3	56.3	21.2	0.7	9,168

## ②今の勤務先での就業継続意志（年齢段階別）

	半年程度	1～2年程 度続けた い	3～5年程 度続けた い	6～10年 程度続け たい	働き続け られるかぎ り	わからな い	無回答	合計(N)
19歳以下	7.1	7.1	35.7	0.0	35.7	14.3	0.0	28
20～24歳	4.4	15.4	17.0	2.3	30.1	30.3	0.5	435
25～29歳	6.2	12.4	10.1	2.2	33.2	35.6	0.4	923
30～34歳	5.1	8.7	8.7	2.3	38.1	36.4	0.8	1,165
35～39歳	3.5	8.6	6.8	2.6	45.9	32.3	0.3	1,250
40～44歳	3.4	6.7	6.9	3.2	44.1	35.1	0.5	1,196
45～49歳	3.2	6.5	8.9	5.0	44.9	30.7	0.8	1,250
50～54歳	4.1	6.5	10.8	9.2	42.0	26.4	1.1	1,106
55～59歳	2.4	8.9	18.6	6.7	45.2	16.5	1.7	935
60～64歳	3.4	16.1	21.3	1.8	42.0	13.6	1.8	610
65歳以上	2.7	18.7	13.4	2.1	50.3	11.2	1.6	187
不明	6.0	9.6	6.0	4.8	34.9	30.1	8.4	83
年齢計	3.9	9.2	11.0	4.1	41.7	29.1	0.9	9,168

図表4-28は、54歳以下の人に限って「働き続けられる限り」を選択した人の割合を資格取得類型ごとに示した。ここから、ヘルパー2級の資格のみを持つ人のうち、介護福祉士資格の取得を希望している人は仕事継続意志も勤務先継続意志も強いことが多く、取得を希望しない人にはいずれの意志も弱いことが多いことがわかる。

図表 4-28 資格類型・年齢段階別仕事継続意志（54歳以下）

		今の仕事継続意志		今の勤務先継続意志	
		%	N	%	N
34歳以下 仕事*	介護福祉士資格あり	51.8	1,625	33.5	1,624
	2級のみ・取得希望あり	54.4	747	38.6	746
	2級のみ・取得希望なし	43.7	167	35.5	166
	計	52.0	2,539	35.1	2,536
35-44歳 仕事***	介護福祉士資格あり	64.6	1,457	44.2	1,456
	2級のみ・取得希望あり	67.1	736	48.2	735
	2級のみ・取得希望なし	48.2	245	42.9	245
	計	63.7	2,438	45.2	2,436
45-54歳 仕事***	介護福祉士資格あり	61.0	1,380	43.9	1,381
	2級のみ・取得希望あり	61.5	595	45.6	597
	2級のみ・取得希望なし	48.5	357	41.3	356
	計	59.2	2,332	43.9	2,334
合計 仕事*** 勤務先*	介護福祉士資格あり	58.8	4,462	40.2	4,461
	2級のみ・取得希望あり	60.9	2,078	44.0	2,078
	2級のみ・取得希望なし	47.3	769	40.5	767
	計	58.2	7,309	41.3	7,306

$\chi^2$ 検定：有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01

注：無回答は除外

次に、それぞれの資格取得類型のなかでの、就業継続の意志の強い人と弱い人の違いを検討する。この分析の意図は、介護福祉士資格を取得する希望のある人とない人では現在の働き方も働くことについての価値観も異なることが考えられ、そうした多様な価値観の人たちがそれぞれにより長く介護の仕事に就き続けてもらうためにはどのような雇用管理のあり方が望ましいのかを検討することにある。

そこで、3種の資格取得類型それぞれについて、就業継続意志を目的変数として、雇用管理の在り方や職場風土などを代表するいくつかの変数を説明変数として投入してその効果を検討する多変量解析（ロジステック回帰分析）を試みる。その際、雇用管理や職場風土以外の就業継続意志を左右しそうな事柄（本人属性や職場の特性など）を統制変数として投入する。使用する各変数は次の通りである。

#### 被説明変数：

就業継続意志 ①今の仕事の継続意志、②今の勤務先継続意志：いずれも「働き続けられる限り」選択の有無

#### 統制変数：

本人属性 ①性別 D<sup>1</sup>、②年齢、③学歴 D、④主たる家計の維持者であるか否か。

本人の経歴 ①福祉専門教育の経験<sup>2</sup>、②医療福祉職以外の職種経験の有無。

勤務先・仕事特性 ①事業所類型<sup>3</sup>、②事業所従業員規模、③職種（介護職員か、訪問介護

<sup>1</sup> Dはダミー変数として分析に投入したことを示す。

<sup>2</sup> 介護福祉関係の専修・専門学校、高等学校の介護福祉関係の学科、高専・短大の介護福祉関係の学科、大学・大学院の介護福祉関係の学科のいずれかを卒業したか否か。

員か)、④業務に関する社会的評価(本人の悩み、不安、不満等を問う設問で、「業務に対する社会的評価が低い」を選択したか否か<sup>4)</sup>。

#### 説明変数：

雇用形態 正規職員、非正規職員(長時間、短時間に分離<sup>5)</sup>)。

賃金 ①地域の平均的賃金との格差(「平成24年賃金構造基本調査」(厚生労働省)による都道府県別の平均賃金(時間給労働者については男女別「1時間当たり所定内賃金」、月給労働者については男女・年齢段階別の「きまって支給する現金給与額」)に対する比)。②賃金への不満感(悩み、不安、不満等を問う設問で「仕事内容のわりに賃金が低い」を選択したか否か)

労働時間 ①残業・休日出勤(職場の特徴を問う設問で「残業や休日出勤が少ない」を選択したか否か)、②個人の事情配慮(同設問で「個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある」を選択したか否か)。

仕事の密度 ①繁忙感(本人の悩み、不安、不満等を問う設問で「人手が足りない」を選択したか否か)、②注意力低下(過去1年間に事故になりかけた「ヒヤリ・ハット」の経験の有無)。

教育訓練 ①OJT(過去1年間に仕事上の能力の向上を考えて、上司や指導担当者、同僚らどの程度指導やアドバイスを受けたか(「よくしてくれた」～「全くしてくれなかった」の4段階))、②Off-JT(過去1年間で業務を離れ、研修や講習会に参加したか、併せてその回数)。

他の職場風土 ①昇進の男女間格差(職場の特徴を問う設問で「男女の区別なく昇進・昇格できる雰囲気がある」を選択したか否か)、②風通しの良さ(本人の悩み、不安、不満等を問う設問で「ケアの方法等について意見交換が不十分である」を選択したか否か)。

結果が次の図表4-29である。

表中の数字はオッズ比であり、1より大きければ目的変数に対してプラス方向(ここでは「働き続けられる限り」を選択する方向)に、1より小さければマイナス方向(同、選択しない方向)に影響していることを示す。\*(および<sup>4)</sup>)は統計的に有意であることを示す。

<sup>3</sup> 勤務先事業所の主な介護サービスの種類。分類については図表4-3の注を参照のこと。

<sup>4</sup> 当事者の意識を問う設問ではあるが、就業継続意志に影響を与える可能性があり、同時に、事業所の雇用管理の在り方によって変わる認識ではないと思われるので、ここでは統制変数として投入する。

<sup>5</sup> 非正規職員は、パート、アルバイト、臨時職員、嘱託職員、契約社員等と定義、このうち、所定労働時間が正規職員と同じ者が長時間、正規職員より短い者が短時間。

図表4-29 資格取得類型別就業継続意志の規定要因分析  
(54歳以下のみ・ロジスティック回帰分析)

	2級のみ・取得希望なし		2級のみ・取得希望あり		介護福祉士資格あり		
	モデル(1)	モデル(2)	モデル(3)	モデル(4)	モデル(5)	モデル(6)	
	仕事継続	勤務先継続	仕事継続	勤務先継続	仕事継続	勤務先継続	
	Exp(B)	Exp(B)	Exp(B)	Exp(B)	Exp(B)	Exp(B)	
性別	女性	0.888	0.795	1.004	0.914	1.070	0.882
年齢		1.023 *	1.023 *	1.028 ***	1.026 ***	1.041 ***	1.043 ***
学歴(基準:大学・大学院卒)	中卒	4.936 **	6.556 ***	1.630 +	1.271	1.421	1.656 +
	高卒	1.662 +	2.086 *	1.703 **	1.625 **	1.206	1.255 +
	専門・短大卒	1.303	1.637	1.459 *	1.545 *	1.244 +	1.204
主たる家計の維持者		1.076	0.978	1.137	0.929	0.978	1.012
福祉専門教育経験	あり	1.841 +	1.854 +	1.127	1.024	0.990	0.922
経験職(基準:福祉医療職のみ)	他職経験あり	1.326	1.119	1.171	1.058	0.955	0.878 +
	不明	1.381	1.326	0.963	0.943	0.905	1.010
事業所類型(基準:施設系・入所型)	訪問系	2.064 +	1.885	1.105	1.259	1.320 +	1.249
	施設系(通所型)	2.711 ***	1.584 +	1.084	1.289 +	0.974	0.970
	その他	1.196	0.717	0.964	1.140	0.636 +	0.834
	無回答	2.115	2.736	0.559	1.015	0.887	1.307
事業所従業員数(基準:10人未満)	10人以上20人未満	1.453 +	1.253	0.843	0.862	0.902	0.906
	20人以上50人未満	1.926 **	1.045	0.942	0.785 +	1.118	1.215 +
	50人以上100人未満	1.320	1.613	1.120	1.104	1.087	1.386 **
	100人以上	1.528	1.324	0.873	1.003	0.773 +	0.879
	わからない・無回答	0.888	0.932	1.011	0.574 *	0.927	0.742
職種(基準:介護職員)	訪問介護員	0.963	0.773	1.097	1.156	0.655 **	0.856
業務に対する社会的評価への不満あり		1.226	1.138	0.683 **	0.743 *	0.921	0.910
雇用形態(基準:正社員)	長時間非正規	1.296	1.163	1.122	0.983	1.087	0.788 *
	短時間非正規	0.757	0.754	1.050	1.119	1.023	0.823 +
	その他・不明	1.299	0.928	1.516 +	1.174 +	1.125	1.025
都道府県別平均給与との比(基準:0.5以下)	0.5超~0.7以下	1.525	1.008	1.228	1.150	1.003	1.226
	0.7超~0.9以下	1.598	1.151	1.179	0.977	1.084	1.252
	0.9超~1.2以下	1.518	1.360	1.225	1.225	1.140	1.299
	1.2超	2.225 +	1.824	1.150	1.224	1.044	1.536
	不明・無回答	1.724	1.734	1.083	1.305	1.034	1.275
仕事内容のわりに賃金が低い		0.650 *	0.642 *	0.790 *	0.606 ***	0.799 **	0.671 ***
残業や休日出勤が少ない		0.834	0.938	1.038	1.117	1.156 +	1.270 **
個人的な生活時間に配慮する雰囲気あり		1.432 *	1.784 **	1.233 *	1.532 ***	1.446 ***	1.665 ***
人手が足りない		0.809	0.811	0.874	0.790 *	0.837 *	0.702 ***
ヒヤリ、ハットの経験(基準:なかった)	あった	1.034	1.031	0.850	0.827 +	0.903	0.880 +
	無回答	0.489	0.558	1.153	0.821	0.714	0.646
上司や同僚からの指導やアドバイス(基準:よくしてくれた)	まあしてくれた	0.696 *	0.584 **	0.765 *	0.714 **	0.774 **	0.601 ***
	あまりしてくれなかった	0.474 *	0.252 ***	0.814	0.491 ***	0.697 ***	0.446 ***
	全くしてくれなかった	2.417 +	0.987	0.428 **	0.100 ***	0.446 ***	0.262 ***
	無回答	0.905	0.465 +	0.555	0.623	0.877	0.975
過去1年のOFF-JT回数(基準:受講なし)	1回	1.102	0.917	1.169	1.465 **	0.952	0.985
	2回	0.940	0.763	1.124	1.178	1.085	1.102
	3回	1.292	1.483	1.146	1.723 **	1.122	0.888
	4-5回	1.123	0.655	1.147	1.078	1.145	1.020
	6回以上	1.121	0.553	1.303	1.247	1.250	1.083
	不明・無回答	0.983	0.888	1.979 +	1.767 +	0.967	0.935
男女の区別なく昇進・昇格できる雰囲気あり		1.194	1.476 *	1.690 ***	1.899 ***	1.464 ***	1.738 ***
ケアの方法等の意見交換が不十分		0.780	0.744	1.123	0.776 *	1.018	0.806 **
N		766	764	2,064	2,065	4,442	4,442
Nagelkerke R2 乗		0.150	0.195	0.103	0.206	0.094	0.186

有意水準 \*\*\*<.001、\*\*<.01、\*<.05、+<.10

まず、取得希望なし群について検討する。今の仕事の継続意志について見たものがモデル(1)、今の勤務先への就業継続意志をみたものがモデル(2)である。

表の下段がここで注目したい雇用管理・職場風土に係る変数である。

有意な変数に注目すると、仕事継続意志と勤務先継続意志との間にはあまり違いはない。

プラスの方向では、「個人的な生活時間に配慮する雰囲気」「男女の別なく昇進・昇格できる雰囲気」の2つの効果が確認される。マイナスの方向では、「上司や同僚からの指導やアドバイス」について「まあよくしてくれた」「あまりしてくれなかった」が有意である。これは「よくしてくれた」との比較であり、指導やアドバイスが少ない職場では勤続意欲が高まらないということを示唆している<sup>6</sup>。

賃金について、まず地域の平均的な賃金との比の変数を見る。基準を0.5以下という格差が大きい状態においており、オッズ比がすべて1より大きいので、平均賃金との格差が小さい、あるいはその水準以上であれば、就業継続意欲は高い傾向にあると推測される。ただし統計的には弱い関係にとどまる。もう一つの「仕事内容のわりに賃金が低い」という認識に関連しては、関係は明らかであり、この認識を持つ人ほど就業継続意志は弱かった。近年、介護労働者の賃金水準は上昇しているとされるが、この調査時点では、本分析対象者の約半数がこうした認識を持っており、根強い意識となっている。

ここまで見た時間的配慮や男女の別なく昇進できる雰囲気、あるいはOJT、賃金の重要性は、他の資格類型でも共通している。むしろ、他の類型の方がはっきりした傾向になっており、積極的に介護福祉士資格を取ろうとしていたりすでにとっている労働者に対する配慮と同様の配慮が、資格取得に消極的な人たちにも定着促進の効果を及ぼすといえるだろう。

では、この群の特徴は何か。属性の部分を見ると、学歴では中学卒をはじめ低学歴の人の就業継続意志が強いことが示されている。同時に、福祉系専門教育もプラスに貢献している。この類型には高校までの教育歴で、比較的早く学校を離れた人が多いのだが、それだけに、福祉系の専門教育を受けるとその効果が大きいのかもしれない。一方で、この群ではOff-JTについては、その効果が有意でないだけでなく全体に1より小さくプラス効果はあまり期待できない。となると、OJTが重要なのではないだろうか。上位資格を目指す教育ではなく、日々の仕事を改善するための指導・アドバイスの体制を充実することが就業継続意志を高める可能性が高い。

次に、取得希望あり群についてみる。時間的配慮、男女の別なく昇進できる雰囲気、OJT、賃金については取得希望なし群と同様かそれ以上に就業継続意志を高めるうえで効果があると推測される。加えて、Off-JTの受講も統計的に有意なプラスの効果を示した。介護福祉士資格取得を希望しているだけに、こうした研修などには関心が高く、事業所が機会を提供していれば、定着意欲は高まるということであろう。マイナスの効果では「人手が足りない」「ヒヤリ、ハット経験」「ケアの方法などの意見交換が不十分」が有意になっており、これらの問題は事業所への定着意欲の低下につながっている。また、この類型では「業務への社会的評価の低さ」の認識も明らかにマイナスの効果となっている。これらの様々な課題を感じていることが、就業継続意志を低下させることにつながる一方、資格取得への希望を強化す

<sup>6</sup> なお、仕事継続について、「全くしてくれなかった」についてはオッズ比は1より大きく逆の向きになっているが、これは対象数が少なく特異な例だと考えられる。

ることにも働いているのではないかと推測される。課題認識を就業中断ではなく資格取得意欲の強化につなげるためには、まず、事業所内で対応できる課題には積極的に対応し、同時に資格取得を支援する施策を展開することが望まれる。

介護福祉士群についても、資格取得希望者と同様、個人の生活時間への配慮、男女の別なく昇進できる雰囲気、OJTの充実が求められ、また、賃金への不満、人手不足やヒヤリ・ハットにつながる労働の過密などへの対応が就業継続意志の強化には必要だと思われる。有資格者と資格取得希望者との違いは、Off-JTの受講は有資格者では有意な変数ではないことである。研修等の受講そのものは有資格者の方が回数が多いが、その受講が就業継続意志の強化にはつながっていない。これに対して、上司や同僚からの指導・アドバイスを受けることは明らかに効果がある。指導・アドバイスは、ここまでOJTを代表する変数としてきたが、そこにはおそらく職場のコミュニケーションの良好さも含まれよう。「ケア方法等の意見交換」とあわせて、話し合いのしやすい風通しの良い職場の在り方が、就業継続意志にかかわっていると思われる。

## 第7節 まとめ

本章では、資格取得意欲に着目し、介護福祉士資格の取得を希望する人と希望しない人とは、就業意識や仕事上の経験、職場への満足度、就業継続意志などに違いがみられるのか、また、介護福祉士資格を取得した人は取得していない人と比較して意識の変化が生じるのか等について分析を試みた。

ヘルパー2級資格のみを所持している人のうち、介護福祉士の資格取得を希望する群と希望しない群との属性の違いをみると、取得希望がある群は希望しない群と比べて、現在の年齢及び入職時の年齢が若い層が多く、また、男性比率、専門学校以上の学歴の割合、正規職員の割合が高い傾向があった。

年齢及び雇用形態別に取得希望比率をみると、34歳以下では雇用形態に関わらず約8割が取得希望を持っており、35～44歳層では非正規職員の取得希望比率が若干低下するものの、正規職員では8割を超える人が取得希望を持っている。若年・中年層での資格取得意欲は高い。

年齢及び雇用形態を統制して比較すると、仕事上の経験の受け止め方や職場の取組みに対する評価なども資格取得意欲に関わっていることが推測できた。取得希望がある群では、「適切なケアができていないか」といった自分の仕事上のスキルや緊急時等の対処方法に対する不安が大きく、また、業務上のヒヤリ・ハット経験を認識している割合が高い。これに対して、取得希望がない群では、全般に仕事や職場への不安・不満が小さく、仕事上のリスクをあまり感じていない傾向があった。これらのことから、自分の現状への問題意識が資格取得意欲を促進する方向に働くことが考えられる。

すでに資格を取得した介護福祉士有資格者群においては、仕事や職場への悩みや不満を感

じる割合が3つの類型の中で最も高く、資格の取得が悩みの解消ではなく、さらなる問題意識につながっていることがうかがえた。

また、職場でのさまざまな取組みに対し、取得希望がある群では「十分行われている」と肯定的に評価する割合が高く、働く上での不安・不満等を解消する上で役立つという期待も取得希望のない群に比べて大きい。職場によるバックアップが資格取得意欲を支える力になっていると考えられる。

職場満足度に関しては、資格取得類型によって満足感を得られる側面が異なり、また、一般的に介護福祉士有資格者の満足感が低い。満足感の構造の分析からみると、資格取得希望とはかかわりなく、職場における教育訓練が職業生活全体の満足感に影響する重要なポイントになっている。

資格取得類型と就業継続意志の関係をみると、資格取得を希望している人は仕事継続意志も勤務先継続意志も強いことが多く、取得を希望しない人にはいずれの意志も弱いことが多い。継続意志を高める要因としては、資格取得類型に関わらず、時間的配慮や男女の別なく昇進できる雰囲気、OJT、賃金等が重要である。取得希望のある人においてはOff-JTの受講など研修の機会、介護福祉士有資格者においては、上司や同僚からの指導・アドバイスなど職場のコミュニケーションの良好さが就業継続意志にかかわっていると考えられる。

以上の分析から、次のように、資格取得意欲と就業意識に応じた雇用管理により、それぞれの類型の人が職場満足感と就業継続意識を高め、安定した労働力として力を発揮するような取り組みが重要であると考えられる。

- ①資格取得を希望する人は、資格取得を希望しない人と比べ、仕事上の悩みや不安を感じ、ヒヤリ・ハットなどネガティブな経験をしている割合が高い一方、職場の雇用管理を評価している人も多い。困難な経験や悩みを乗り越えて資格取得により専門性の向上やスキルアップを図ろうとする姿勢を支援するために、能力開発機会の付与や相談体制の充実など、職場としてきめ細かなサポート策を講じることが望まれる。
- ②資格取得を希望していない人は、仕事への悩みや不安が比較的小さく、賃金や労働時間など仕事への満足感が相対的に高い。必ずしも上位資格に結びつくものでなくとも、着実に職業能力を高める研修機会を提供することなどにより、安定した労働力として長く就業を継続する意欲を維持できるようにすることが重要である。
- ③介護福祉士は、介護福祉士資格を取得していない人に比べて、仕事上の悩みや不満が大きく、仕事への満足感が全般に低い傾向がある。資格取得に伴う要求水準の高まりや問題意識の明確化が背景にあるとはいえ、資格取得に対する「報われ感」が低い人が多いこともうかがえる。資格取得を目指したモチベーションや高い問題意識を維持し、中核人材として、働きがいと満足感を持って仕事に取り組めるよう、資格取得後も職場による継続的なフォローアップが必要である。

## 付表

## 1) 図表4-23の各セルのN

所持資格と受験予定	内容・やりがい	キャリアアップの機会	賃金	労働時間等労働条件	勤務体制	評価・処遇のあり方	職場環境	職場の人間関係	福利厚生	教育訓練のあり方	職業生活全体
介護福祉士資格あり	5,307	5,262	5,307	5,307	5,303	5,277	5,299	5,313	5,273	5,266	5,263
2級のみ・取得希望あり	2,327	2,302	2,319	2,321	2,315	2,307	2,324	2,326	2,298	2,311	2,299
2級のみ・取得希望なし	1,415	1,346	1,402	1,394	1,398	1,363	1,401	1,403	1,337	1,353	1,367
合計	9,049	8,910	9,028	9,022	9,016	8,947	9,024	9,042	8,908	8,930	8,929

## 2) 図表4-24の各セルのN

所持資格と受験予定	内容・やりがい	キャリアアップの機会	賃金	労働時間等労働条件	勤務体制	評価・処遇のあり方	職場環境	職場の人間関係	福利厚生	教育訓練のあり方	職業生活全体
介護福祉士資格あり	1,436	1,413	1,436	1,437	1,435	1,420	1,430	1,435	1,415	1,418	1,419
正規職員	2級のみ・取得希望あり	1,050	1,037	1,048	1,048	1,042	1,039	1,045	1,050	1,032	1,039
2級のみ・取得希望なし	883	840	879	872	872	850	873	876	825	839	851
合計	3,369	3,290	3,363	3,357	3,349	3,309	3,348	3,361	3,272	3,296	3,303
介護福祉士資格あり	3,727	3,705	3,727	3,724	3,723	3,712	3,724	3,733	3,714	3,704	3,701
非正規職員	2級のみ・取得希望あり	1,192	1,181	1,186	1,190	1,191	1,185	1,194	1,192	1,183	1,189
2級のみ・取得希望なし	438	424	434	435	436	427	437	436	430	431	432
合計	5,357	5,310	5,347	5,349	5,350	5,324	5,355	5,361	5,327	5,324	5,315

## 3) 図表4-25の各セルのN

資格取得類型	内容・やりがい	キャリアアップの機会	賃金	労働時間等労働条件	勤務体制	評価・処遇のあり方	職場環境	職場の人間関係	福利厚生	教育訓練のあり方	職業生活全体
介護福祉士資格あり	1,623	1,620	1,622	1,622	1,618	1,616	1,623	1,623	1,618	1,616	1,615
34歳以下	2級のみ・取得希望あり	746	738	739	744	741	739	745	745	735	737
2級のみ・取得希望なし	166	163	164	166	166	164	166	166	163	165	165
合計	2,535	2,521	2,525	2,532	2,525	2,519	2,534	2,534	2,516	2,520	2,517
介護福祉士資格あり	1,451	1,442	1,452	1,452	1,452	1,446	1,451	1,454	1,449	1,447	1,447
35～44歳	2級のみ・取得希望あり	734	729	733	728	733	730	733	728	728	726
2級のみ・取得希望なし	241	238	239	240	238	237	238	236	230	236	235
合計	2,426	2,409	2,424	2,420	2,423	2,413	2,422	2,423	2,407	2,411	2,408
介護福祉士資格あり	1,376	1,361	1,377	1,376	1,376	1,373	1,370	1,377	1,364	1,366	1,362
45～54歳	2級のみ・取得希望あり	593	587	596	594	589	595	596	591	595	592
2級のみ・取得希望なし	356	345	353	354	357	345	355	356	350	349	351
合計	2,325	2,293	2,326	2,324	2,322	2,309	2,320	2,329	2,305	2,310	2,305
介護福祉士資格あり	817	802	817	819	818	805	817	820	804	800	803
55歳以上	2級のみ・取得希望あり	238	232	235	239	236	235	236	228	233	228
2級のみ・取得希望なし	634	583	627	616	619	601	623	626	579	586	598
合計	1,689	1,617	1,679	1,674	1,673	1,638	1,675	1,682	1,611	1,619	1,629

4) 図表4-29の基本統計量：各変数の構成比（資格取得類型別・54歳以下）

		合計	資格取得類型		
			2級のみ・取得 希望なし	2級のみ・取得 希望あり	介護福祉士資 格あり
合計	N	7,353	776	2,090	4,487
	%	100.0	100.0	100.0	100.0
性別	男	23.6	14.2	25.9	24.2
	女	76.3	85.8	74.1	75.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	34歳以下	34.7	21.6	35.9	36.4
	35-44歳	33.3	31.8	35.4	32.5
	45-54歳	32.0	46.5	28.7	31.1
学歴	中学卒	2.7	4.3	4.3	1.7
	高校卒	48.0	60.2	57.9	41.2
	専門・短大・高専卒	38.2	24.2	24.7	46.9
	大学・大学院卒	10.8	11.2	12.5	10.0
	無回答	0.3	0.1	0.6	0.2
主たる生計の維持者か	主たる維持者でない	62.0	70.2	61.7	60.7
	主たる維持者である	37.8	29.4	38.2	39.1
	無回答	0.2	0.4	0.1	0.2
福祉専門教育の経験	福祉教育あり	24.7	7.9	6.8	35.9
	福祉教育なし	75.1	92.1	92.7	63.9
	教育不明	0.2	0.0	0.4	0.1
経験職	福祉医療職のみ	34.7	31.3	32.3	36.4
	他職経験	54.6	55.5	57.5	53.2
	不明	10.6	13.1	10.2	10.4
事業所類型	訪問系	28.5	42.4	33.2	23.9
	施設系(入所型)	37.0	18.8	29.5	43.6
	施設系(通所型)	31.5	34.9	34.2	29.7
	その他	1.5	1.9	1.7	1.4
	無回答	1.5	1.9	1.5	1.4
事業所の従業員数	10人未満	20.9	37.9	24.4	16.4
	10人以上20人未満	28.8	30.8	32.2	26.9
	20人以上50人未満	25.5	17.9	25.1	26.9
	50人以上100人未満	12.8	3.4	7.8	16.7
	100人以上	7.5	3.6	5.0	9.4
	わからない	3.1	4.3	4.2	2.5
主な仕事	訪問介護員	24.3	38.7	28.0	20.1
	介護職員	75.7	61.3	72.0	79.9
業務に対する社会的評価が低い	選択	31.5	23.3	26.4	35.3
	非選択	68.5	76.7	73.6	64.7
雇用形態	正社員	63.2	38.0	52.2	72.7
	長時間非正規	12.8	12.4	17.6	10.6
	短時間非正規	18.5	38.8	22.9	12.9
	その他・不明	5.5	10.8	7.4	3.7
都道府県別平均給与との比	0.5以下	3.5	6.6	5.3	2.2
	0.5超~0.7以下	16.8	12.1	20.2	16.0
	0.7超~0.9以下	33.9	29.1	33.8	34.8
	0.9超~1.2以下	22.9	20.5	16.6	26.3
	1.2超	4.1	6.6	4.1	3.7
	不明・無回答	18.7	25.1	20.0	17.0
仕事内容のわりに賃金が低い	選択	49.4	40.9	44.9	53.0
	非選択	50.6	59.1	55.1	47.0
残業や休日出勤が少ない	選択	30.8	31.3	33.3	29.5
	非選択	69.2	68.7	66.7	70.5
個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある	選択	39.0	45.6	43.4	35.7
	非選択	61.0	54.4	56.6	64.3
人手が足りない	選択	48.1	39.7	43.8	51.6
	非選択	51.9	60.3	56.2	48.4
過去1年のヒヤリ、ハットの経験	あった	66.5	48.5	63.6	71.0
	なかった	31.2	47.4	34.7	26.8
	無回答	2.3	4.1	1.7	2.2
上司や同僚からの指導やアドバイス	よくしてくれた	40.3	43.6	48.6	35.8
	まあしてくれた	39.2	37.2	35.6	41.2
	あまりしてくれなかった	14.2	11.5	10.7	16.3
	全くしてくれなかった	3.3	3.4	2.2	3.8
	無回答	3.0	4.4	2.8	2.9
過去1年のOFF-JT回数	受講なし	30.0	44.8	34.1	25.6
	1回	20.0	18.7	21.1	19.7
	2回	17.0	11.5	15.6	18.7
	3回	10.9	6.3	8.8	12.7
	4-5回	10.0	6.8	9.0	11.1
	6回以上	7.7	4.6	7.8	8.1
	不明・無回答	4.3	7.2	3.6	4.1
男女の区別なく昇進・昇格できる雰囲気がある	選択	40.9	29.1	41.5	42.6
	非選択	59.1	70.9	58.5	57.4
ケアの方法等について意見交換が不十分である	選択	26.7	18.4	24.7	29.1
	非選択	73.3	81.6	75.3	70.9

## 5) 図表4-29の基本統計量：就業継続意志の状況

(「働き続けられる限り」選択率・54歳以下)

	2級のみ・取得希望なし				2級のみ・取得希望あり				介護福祉士資格あり			
	仕事継続		勤務先継続		仕事継続		勤務先継続		仕事継続		勤務先継続	
	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N
合計	52.8	769	44.6	767	65.1	2,078	47.2	2,078	64.4	4,462	44.6	4,461
性別												
男	51.9	108	45.8	107	61.3	540	43.8	539	59.1	1,084	42.4	1,081
女	53.0	661	44.4	660	66.4	1,538	48.3	1,539	66.0	3,377	45.3	3,380
無回答	-	0	-	0	-	0	-	0	-	1	-	0
年齢												
34歳以下	45.5	167	36.7	166	57.2	747	41.0	746	55.0	1,625	35.8	1,624
35-44歳	51.4	245	45.3	245	69.6	736	50.5	735	68.3	1,457	47.4	1,456
45-54歳	57.1	357	47.8	356	69.6	595	50.8	597	71.2	1,380	51.9	1,381
学歴												
中学卒	69.7	33	66.7	33	66.3	89	44.9	89	71.1	76	56.6	76
高校卒	53.7	462	45.2	462	68.0	1,204	49.7	1,206	67.0	1,838	48.1	1,837
専門・短大・高専卒	51.9	187	44.6	186	64.0	514	46.8	515	63.0	2,096	41.9	2,096
大学・大学院卒	43.0	86	32.9	85	53.7	259	37.4	257	58.7	443	40.0	443
無回答	-	1	-	1	-	12	-	11	-	9	-	9
主たる生計の維持者か												
主たる維持者でない	52.0	540	44.2	539	64.5	1,283	48.2	1,283	65.1	2,705	44.8	2,707
主たる維持者である	54.0	226	45.3	225	66.2	793	45.5	793	63.1	1,746	44.2	1,743
無回答	-	3	-	3	-	2	-	2	-	11	-	11
福祉専門教育の経験												
福祉教育あり	55.9	59	47.5	59	60.8	143	40.6	143	59.2	1,606	38.3	1,606
福祉教育なし	52.5	710	44.4	708	65.5	1,926	47.7	1,927	67.3	2,850	48.1	2,849
教育不明	-	0	-	0	-	9	-	8	-	6	-	6
経験職												
福祉医療職のみ	48.3	242	43.6	241	61.8	673	45.7	672	61.4	1,626	41.9	1,625
他職経験	54.0	428	43.8	427	66.9	1,196	47.7	1,196	66.4	2,378	45.7	2,375
不明	58.6	99	50.5	99	65.6	209	48.6	210	64.4	458	47.9	461
事業所類型												
訪問系	55.0	327	48.9	325	69.6	687	54.7	687	68.1	1,061	51.7	1,062
施設系(入所型)	40.6	143	35.0	143	61.4	616	39.1	616	63.1	1,951	42.4	1,951
施設系(通所型)	57.2	269	45.0	269	64.5	710	47.1	711	64.1	1,329	42.5	1,326
その他	40.0	15	26.7	15	65.7	35	45.7	35	48.4	62	33.9	62
無回答	53.3	15	53.3	15	53.3	30	41.4	29	59.3	59	46.7	60
事業所の従業員数												
10人未満	51.2	293	45.1	293	67.3	507	52.1	509	66.1	729	45.4	731
10人以上20人未満	54.5	235	46.0	235	62.8	669	47.2	668	64.2	1,198	43.5	1,197
20人以上50人未満	57.7	137	42.3	137	65.5	524	44.4	523	66.6	1,206	47.3	1,203
50人以上100人未満	46.2	26	46.2	26	67.3	162	46.9	162	64.4	747	46.7	747
100人以上	50.0	28	42.3	26	62.1	103	45.6	103	57.5	419	38.5	421
わからない	36.4	33	33.3	33	66.7	87	41.4	87	54.1	109	26.9	108
無回答	64.7	17	58.8	17	69.2	26	34.6	26	68.5	54	48.1	54
主な仕事												
訪問介護員	55.0	298	48.5	297	70.7	580	56.7	580	67.2	890	52.2	891
介護職員	51.4	471	42.1	470	63.0	1,498	43.5	1,498	63.7	3,572	42.7	3,570
業務に対する社会的評価が低い												
選択	51.1	178	41.0	178	57.0	551	36.8	551	61.5	1,576	39.6	1,578
非選択	53.3	591	45.7	589	68.0	1,527	50.9	1,527	65.9	2,886	47.3	2,883
雇用形態												
正社員	49.1	291	41.5	289	62.5	1,084	44.2	1,083	63.4	3,245	44.7	3,244
長時間非正規	57.3	96	45.8	96	65.5	365	44.5	366	65.3	475	38.8	474
短時間非正規	52.3	298	45.6	298	68.2	475	54.3	475	68.6	579	47.7	579
その他・不明	61.9	84	50.0	84	72.7	154	51.9	154	66.3	163	47.0	164
都道府県別平均給与との比												
0.5以下	43.1	51	41.2	51	63.6	110	44.5	110	61.6	99	39.4	99
0.5超~0.7以下	52.2	92	38.5	91	65.6	421	46.8	421	62.5	714	44.0	713
0.7超~0.9以下	50.2	225	39.3	224	63.4	703	42.4	703	64.3	1,556	44.1	1,555
0.9超~1.2以下	52.8	159	44.7	159	67.2	345	51.4	346	66.2	1,172	45.0	1,173
1.2超	64.7	51	54.9	51	71.4	84	57.6	85	68.5	165	55.8	165
不明・無回答	55.5	191	51.8	191	64.8	415	50.6	413	62.8	756	43.7	756
仕事内容のわりに賃金が低い												
選択	46.3	315	36.5	315	58.9	935	35.0	936	60.0	2,365	36.9	2,366
非選択	57.3	454	50.2	452	70.2	1,143	57.1	1,142	69.2	2,097	53.3	2,095
残業や休日出勤が少ない												
選択	53.3	242	47.5	242	67.4	694	51.9	695	68.7	1,324	51.6	1,321
非選択	52.6	527	43.2	525	63.9	1,384	44.8	1,383	62.6	3,138	41.6	3,140
個人的な生活時間の確保に配慮する雰囲気がある												
選択	58.9	353	54.3	352	70.5	904	57.7	906	72.7	1,602	57.2	1,601
非選択	47.6	416	36.4	415	61.0	1,174	39.0	1,172	59.7	2,860	37.5	2,860
人手が足りない												
選択	46.9	307	37.3	306	60.9	913	39.4	913	60.8	2,307	38.0	2,308
非選択	56.7	462	49.5	461	68.4	1,165	53.2	1,165	68.2	2,155	51.6	2,153
過去1年のヒヤリ、ハットの経験												
あった	52.8	373	44.4	372	63.2	1,324	44.2	1,324	63.3	3,167	42.9	3,168
なかった	53.6	366	45.2	365	68.5	721	52.7	721	67.6	1,198	49.5	1,196
無回答	43.3	30	40.0	30	66.7	33	45.5	33	59.8	97	39.2	97
上司や同僚からの指導やアドバイス												
よくしてくれた	58.6	336	55.2	335	69.8	1,010	56.0	1,012	69.9	1,601	56.3	1,601
まあしてくれた	49.0	286	40.0	285	61.3	742	42.8	741	62.9	1,838	41.1	1,836
あまりしてくれなかった	38.6	88	21.6	88	59.4	224	27.7	224	59.0	727	31.5	728
全くしてくれなかった	69.2	26	46.2	26	48.9	47	10.6	47	48.2	168	20.2	168
無回答	51.5	33	36.4	33	67.3	55	53.7	54	67.2	128	54.7	128
過去1年のOFF-JT回数												
受講なし	49.9	345	43.7	343	63.4	711	42.8	712	62.4	1,143	41.9	1,142
1回	55.9	145	46.9	145	65.8	438	50.7	436	62.3	879	43.7	879
2回	52.3	88	42.0	88	64.6	325	46.2	325	64.8	833	46.1	833
3回	61.7	47	59.6	47	63.9	183	53.6	183	65.5	565	42.5	565
4-5回	52.8	53	37.7	53	66.5	188	47.3	188	66.9	496	47.0	496
6回以上	55.6	36	38.9	36	67.3	162	47.0	164	69.4	363	49.7	364
不明・無回答	54.5	55	45.5	55	74.6	71	57.1	70	63.9	183	47.8	182
男女の区別なく昇進・昇格できる雰囲気がある												
選択	57.3	225	52.2	224	72.1	867	56.7	866	69.4	1,910	53.0	1,908
非選択	50.9	544	41.4	543	60.1	1,211	40.3	1,212	60.6	2,552	38.3	2,553
ケアの方法等について意見交換が不十分である												
選択	46.2	143	33.8	142	62.1	515	34.8	515	61.3	1,304	35.8	1,306
非選択	54.3	626	47.0	625	66.1	1,563	51.2	1,563	65.6	3,158	48.2	3,155